

NPO法人フォトカルチャー倶楽部 [コミュニティ情報誌]

フォトライフ

四季

会員64,842名の
(2014年7月1日現在)
皆さんの力で社会貢献、
フォトカルチャー倶楽部。

Vol.90
AUTUMN

秋

9月末締め切り

みどり東京 フォトコンテスト

写真の楽しさを伝える
フォトインストラクター認定講座
参加者募集 (東京)

今から考えてちょうどいい
写真を使った
年賀状づくりのコツ

少ししか暗くならない
Kenko PLフィルター
プレゼント



At the heart of the image



画力一新。

描写の限界を超えた3635万画素

内部機構を一新し実現した、ニコンデジタル一眼レフカメラ史上最高画質。極めて高精度なAFと約5コマ/秒*の高速連続撮影は、高画素の撮影領域を別次元へと押し上げた。D810。このカメラは高画素を制約から解放し、あなたの世界を一新する。

みんなで新しい写真体験を！

フォトカルチャー倶楽部 (PCC) は会員の皆さまのご支援で、さまざまな社会貢献・文化貢献・環境保護貢献をしています。美しい自然を写そう。美しい地球を守ろう。写真で人の絆を深めて、すべての生き物と共生しよう

会員の皆さんの写真で表紙を飾りませんか？
作品投稿お待ちしております。P1、P6～7に掲載する作品も同時募集。
(詳しくは→P48)

上の写真：「山頂に輝く」
飯島恵美子さん(東京都)

表紙：「紅彩に包まれて」
藤野芳正さん(群馬県)

フィルムカメラで撮影しました。1時間以上のバルブ撮影ですが、デジタルだとどうしてもノイズが出てしまうので、長時間の露光ではフィルムカメラを使っています。また、北極星をあえて右上に配置して、構図に変化を出しました。

撮影は午前中の早い時間をもっとも適しています。朝日が差した直後は紅葉が真っ赤に染まり、感動的です。

マミヤ645PRO TL、セコールマミヤ55-110mm、F8、バルブ、三脚使用、静岡県富士市 2012.8.20
「365日フォトコンテスト2012秋冬」より

28-70mm、F16、1/13秒、C-PLフィルター、山梨県南都留郡、2008.11.17
PCC監修『ココがベストスポット 美しい日本の風景 四季を撮る(日経ナショナル ジオグラフィック社)』より

フォトカルチャー倶楽部の最新情報は
こちらで確認できます。

フォトカルチャー倶楽部
→<http://www.npopcc.jp/>
フォトカルチャー倶楽部
Facebookファンページ
→<http://www.facebook.com/npopcc>
メルマガも配信中！

New デジタル一眼レフカメラ D810

■有効画素数3635万画素 ■新開発のニコンFXフォーマットCMOSセンサー ■画像処理エンジン EXPEED 4 ■常用撮像感度 ISO 64~12800 ■進化したピクチャーコントロールシステム ■極限まで高めたAF精度 ■電子先幕シャッター ■約5コマ/秒*の高速連続撮影

※CIPAガイドライン準拠。FXフォーマット時。DXフォーマットでEN-EL15以外の電源使用時は約7コマ/秒。

D810 価格：オープンブライズ D810 24-85 VR レンズキット 価格：オープンブライズ 内容：D810、AF-S NIKKOR 24-85mm f/3.5-4.5G ED VR ●記録媒体は別売です。

8500万画素
NIKKOR

ニコンカスタマーサポートセンター 一般電話、公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。営業時間9:30~18:00(年末年始、夏期休業等を除く毎日)
0570-02-8000 ●ナビダイヤルがご利用いただけない場合は、(03)6702-0577におかけください。
●ファクシミリでの相談は、(03)5977-7499へご連絡ください。

www.nikon-image.com | 株式会社 ニコン・株式会社 ニコン イメージング ジャパン

【POWER OF PHOTOGRAPH】
写真の力

PCC創立6周年

顧問写真家シリーズ

フォトカルチャー倶楽部(PCC)6周年を記念し、季節ごとにPCC顧問に作品を紹介してもらう「顧問写真家シリーズ」。今回は丹地敏明先生に渓谷の紅葉を撮影してもらいました。

PCC顧問 丹地敏明

熊本県菊池市
「それぞれの色」

PCC 6周年おめでとうございます。6年で6万5千人もの会員がいるクラブになったのですね。毎号、本誌を拝見して、みなさんの腕前には驚かされています。さて、秋は写真撮影の楽しみが多い季節です。また、色彩・形・想いなど感情豊かになる季節でもあります。写真は感じた心を写し残す読み物だと、常々思っています。今回の写真作品は、それぞれの色が渓谷に満ち溢れている感動を素早く撮影したものです。目下、撮影手帳のようなものを制作・出版の予定です。



フォトカルチャー倶楽部顧問
丹地敏明(たんじ としあき)

1936年 広島県福山市生まれ。1963年山田書院写真部を経てフリーランスとなる。旅にまつわる取材が多く、撮影対象は多岐にわたる。第21回全国カレンダー展で通産大臣賞受賞。「西表国立公園郵便切手」「小笠原国立公園郵便切手」の原写真撮影者。著書に『丹地敏明写真集 沖縄』(主婦と生活社)、『日本の民家』(山と溪谷社)、『森の水音をきく』(世界文化社)、『蔵出し! 美しい日本・四季の名景一絶対撮りたい! 秘蔵のエリアガイド』(日本写真企画)、など多数。「美しい日本の歴史的風土100選」選定委員(平成19年)。日本写真家協会会員、日本写真協会会員、日本風景写真協会名誉会員
オフィシャルウェブサイト <http://www.toshi-tanji.com>



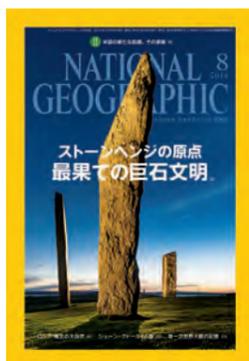
丹地先生写真集プレゼント!

『蔵出し! 美しい日本・四季の名景一絶対撮りたい! 秘蔵のエリアガイド』を1名様にプレゼント。日本各地の風景・名景を撮影した写真集です。撮影データや「見どころと撮影の手ほどき」も掲載。見て学べるお得な1冊です。宛先は→P.48

ペンタックスK-3、16-50mm F2.8 ED AL [IF] SDM、絞り優先、F16、0.1秒、三脚使用

【POWER OF PHOTOGRAPH】
写真の力
『NATIONAL GEOGRAPHIC』より

やさしい秋の光が差し込む森で、アカシカの群れがたたずむ。リッチモンド公園は英国・ロンドンにある8つの王立公園の中で最大の広さを持ち、自然保護区域にも指定されている。



表紙写真は「ナショナル ジオグラフィック日本版」2014年8月号
<http://www.nationalgeographic.jp>



©2014 ALEX SABERI / National Geographic Creative



「みんなもできる、秋！」 応募作の力

都市の秋色、地上の星

「365日フォトコンテスト2012秋・冬」風景部門の入賞作品の中から、編集部が今号の2枚を選びました。人工物が被写体で、普通に見ただけでは季節感が出ないのですが、オレンジの空が秋、工場の光が星の雰囲気を演出しています。都市風景の中に見つけた秋色と星、といったところでしょうか。写真を撮るときに必要な感受性を、この方たちは持っていますね。

「近代のイルミネーション」

磯貝光博さん(愛知県)

写真家の撮影ツアーで工場に行き撮影しました。工場の光がよく、水面の写り込みも綺麗だったので、構図に入れて狙っています。撮影してから確認すると、夕空の赤も工場の光ととても合っていて、きれいに写っていました。

ペンタックスK-5IIIS、DA17-70mm、F5、6秒、三脚使用、三重県四日市市

「365日フォトコンテスト2012秋冬」より



「スカイツリーと富士山」

清水隆史さん(東京都)

ホワイトバランスを「曇り」にただけで、夕陽のオレンジはほぼ見たままの色で写しました。手前の川は江戸川。水面の写り込みも入れて、写真に奥行きを作りました。

ニコンD800E、70-200mm、F8、10秒、三脚使用、千葉県

「365日フォトコンテスト2012秋冬」より

日本一のフォトコンテストは 365日チャンスがあります

PCC主催の「365日フォトコンテスト」は、応募総数が約10万点を超える全国最大規模のフォトコンテスト。プロの写真家や専門家が全応募作品を審査しています。コンテストの上位入賞作品は、本誌や『フォトコンライフ』(双葉社)で随時掲載します。詳しくは→P.25



見上げた秋空と朱の色。ニコンD2X、AF-S DX 18-105mm f/3.5-5.6G ED VR、F7.1、1/40秒、ISO100

さらにここに注目!
マルチ測光で
空も紅葉もバランス
よく色が出ています

こういう写真撮りたくありませんか?
それなら...

「測光」の「ソコシリ」

そこが知りたい! 初心者向け講座 第9回 「変わる・変える・紅葉の色とイメージ」

ナビゲーター 倉本雅史さん



倉本雅史(くらもと・まさふみ)
藤原孝仁氏に師事し16歳からプロとして活動。NHK広島放送局報道部チーフアシスタントを経てビジュアルディレクターとして独立。2006年デジタル写真研究所Studio ZERO ONEに参加。現在フリーカメラマンとして、写真撮影をはじめ各種写真教室、講習など、後進・アマチュアへの指導に力を入れている。写心サークル創主宰・講師。日本写真学会 会員。

「測光」とは光の明るさを測ること

紅葉を撮影すると、「色の感じが違う」「思ったイメージと違う」と感じる事があります。そんなときは、光の読みとり方に問題があるのかもしれない。「測光」とは光の明るさを測ること。カメラで光の量を測り、適正露出になる絞りとしゃッタースピードなどの組み合わせを決めるための基準を導きだすことです。その明るさを測る方法が「測光モード」または「測光方式」と呼ばれています。大きく分けて「スポット測光」と「マルチ測光」です。「中央部重点測光モード」もあり、これはスポット測光よりやや広い部分を測光するモードで、スポット測光とマルチ測光の中間の機能とも言えます。

測光モードを理解すれば、思い通りに光を操り、イメージ通りの作品を作ることができます。



左のスポット測光では中心の光を計測し、重なった葉がはっきりわかります。右のマルチ測光では、全体の色合いが明るく鮮やかですが、葉の細かな黄色い表現がつぶれて飽和気味になっています。ニコンD700、AF Zoom ED 28-200mm F3.5-5.6G IF、F6.3、1/640秒(左)1/400秒(右)、ISO400

「ココがポイント2」

スポット測光で撮りたい部分を適正にする

スポット測光は画面中央の一点(スポット)の光を測定します。撮りたい部分を適正露出で撮影できるので、色彩もより正確に表現することができます。緑の中の紅葉、蓮畑の蓮の花、逆光など、撮りたい部分の被写体と周囲の明るさの差(明暗差)があるときに有効なモードです。作例では滝のある風景を撮影しました。右のマルチ測光の写真では、滝が露出オーバーになっています。そこで、左の写真では滝の部分を「スポット測光」で撮影し、適正露出にして立体感を出しました。このように、スポット測光は自分の狙った被写体のみの明るさを適正にできるため、周りの状態に影響なく露出を決定できます。

この方式は、測光の対象を撮影者が選択することになります。慣れないと使いこなしが難しい方式ですが、露出をカメラ任せにせず、自分で決めたい時に向いています。



右のマルチ測光では全体が明るくなり、紅葉の色も単調になり面白みがなく、滝の水も白とびしています。左のスポット測光では、一番明るい色(白)の滝の水を測光したため、滝の流れを立体的に表現でき、周りの紅葉も色濃くなり風情が出ました。ニコンD2X、シグマ12-24mm F4.5-5.6、F10、1/30秒(右)1/60秒(左)、ISO100(右)400(左)



「ココがポイント3」

マルチ測光で画面全体を適正露出に近づける

マルチ測光は、画面全体の明るさを測定してバランスのいい適正露出を決めます。風景やスナップなど、撮りたい被写体と周囲の明るさの差(明暗差)があまりないときに最適です。そして、マルチ測光で撮影すれば、大きな失敗はありません。スポット測光は露出補正をすることが多いのに対し、マルチ測光はデータを参考にカメラ自身が露出補正を行います。測光に慣れないうちはマルチ測光がおすすめてです。

一方、マルチ測光では撮影者が明るさを決めるのは難しくなります。イメージと違う場合は、露出補正で全体の明るさを調整してみてください。露出補正をプラスにすれば色の濃度は薄く明るく軽やかな感じになり、露出補正をマイナスにすれば色の濃度は濃くやや暗く重厚な感じになります。撮影したら画像を見て、イメージ通りに撮影できているか確認しましょう。



森を対象にスポット測光をした右の写真では、緑が明るくなりすぎて空が白く飛んでしまいました。マルチ測光の左の写真は全体のバランスがとれています。測光方法はどちらが良いとは言いきれませんが、失敗したくない場合はマルチ測光を選択するといいでしよう。ニコンD700、AF-S DX 18-105mm f/3.5-5.6G ED VR、F9、1/60秒(右)1/250秒(左)、ISO200

倉本先生と撮影しながら学べる講座は→P.31



青森県八甲田山の紅葉。雨の中、PLフィルターをつけて撮影しています。
 キヤノン EOS 5D Mark III、EF 24-70mm f/2.8L II USM、絞り優先、F8、1/30秒、-0.3EV、ISO400、青森県八甲田山

プロの金言

長袖を着用して 肌を露出させない



「自然の中に入って撮影するときは、蚊、アブ、ブヨ、ダニ、ヒルなどから身を守ることが大切です。最近は気候が暖かくなり危険な外来種も増えているので、どんな時期でも長袖を着て、肌を露出しないようにしなければなりません。また、衣類やバッグは素材にも気を使いましょう。汗や雨などの水気をふくむと、それが機材や身体に負荷をかけてしまうので、できるだけ早く乾く素材のものを選びたいですね」

秦 達夫 (はた・たつお)
 1970年、長野県南信濃村生まれ。写真家の竹内敏信氏のアシスタントを経て写真家として独立。銀塩&デジタルカメラを使い「ふるさと」をテーマに国内取材を重ねている。12月4日から銀座キヤノンギャラリーにて20年間撮影した長野県遠山山谷霜月祭「あらびるでな」を開催予定。

最新機器で撮影地を予測し 雨や曇りでもPLフィルターを使う

思い出をつくる道具たち 14 風景写真家・秦 達夫さん

最新機材を操る
秦 達夫さんの必携アイテム



愛用の撮影機材

- 【バックパック】 Foxfire「フォトレック・カニミノルII」
- 【カメラボディ】 キヤノンEOS 5D Mark III
キヤノンEOS 6D
- 【交換レンズ】 EF100mm f/2.8Lマクロ IS USM
EF24-70mm f/2.8L II USM
EF16-35mm f/2.8L II USM
EF70-200mm f/4L IS USM
EXTENDER EF2×II

紅葉の撮影では
PLフィルターを
必ず使います



アラスカ、ニュージーランド、屋久島、八甲田山、上高地、河口湖、吉野山、乗鞍高原……。国内外の自然を撮り続けている秦達夫さん。いい写真を撮るためには、最新機器を活用することも大切だと教えてくれました。

アプリやタブレットの GPSも武器になる

森や山に分け入って、風景と向かい合う秦達夫さん。都会から離れた場所では、GPSやタブレット端末などの最新機器が心強い味方になります。「GPSで現在地を知ることが大切ですね。一枚一枚の撮影場所を正確に記録できて、ナビ代わりにもなります。屋久島の森の中で道がわからなくなったときも、GPSがあれば安心です。また、高度計で現在地の標高を知れば、隣の山の紅葉の色づきも予測できます」

もちろん出発前の入念な下調べは大前提ですが、現地ではタブレット端末のアプリも重要な武器。これを利用すれば、日の出や日没の方向を知ることができるので、撮影地を決めるときの参考になるそうです。

従来より明るい C-PLフィルター

そんな秦さんが気に入って使っている最新のアクセサリーが、ケンコーの「Zeta EXサーキュラーPL」です。



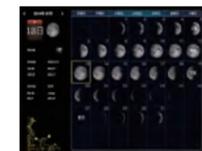
晴れの日だけじゃない PLフィルター

紅葉の撮影では必ずPLフィルターを持ち歩くという秦さん。濡れた紅葉は瑞々しく写りますが、普通に撮ると光が氷に反射してしまい、浅い色になってしまいます。そこでPLフィルターを使うのです。晴れの日を使うイメージが強くありますが、意外な使い道を教えてくれました。



スズメバチの毒から命を 守ってくれる自己注射薬

スズメバチに刺されたことがある秦さんは、エビペンという緊急注射用キットをいつも持ち歩いています。刺されても、これを太ももに注射すれば、アレルギー反応を和らげてくれるのだとか。そんな非常事態が起こらないことを祈るばかりですが……。



撮影をアシストしてくれる 最新デジタル機器

秦さんにとってなくてはならないタブレット端末。気象予測などの情報収集はもちろん、日の出・日の入、月の出・月の入の方角や時刻を教えてくれるアプリを重宝しているそうです。他にも、気圧・高度計・コンパスを内蔵した腕時計、携帯用GPSなども、撮影の心強い味方になってきています。

こういう写真撮りにいきませんか？
きれいな色はこのフィルター



ケンコー・トキナーをもっと知りたくなったら

ケンコー

秦 達夫さん愛用の ケンコー・トキナー 「Zeta EX サーキュラー PL」 PCC会員限定 1名様にプレゼント!

右記QRコードを読み取ってご応募ください。QRコードが読み取れない場合は、「npopcc」で検索してPCCホームページからご応募ください

応募締切: 2014年10月31日(金)

応募先

※ウェブからのみの応募となりますので、あらかじめご了承ください

「紅葉の撮影では、葉の表面反射を抑えて色を鮮やかに出さなければいけないので、PLフィルターは絶対に必要です。晴れの日を使うものだと思うんですが、曇りや雨の日の弱い光にも効果があるんですよ」

「Zeta EXサーキュラーPL」は、普通のPLフィルターよりも透過する光の量が多いのが特徴です。「透過する光の量が多ければ、速いシャッタースピードで撮影できます。とくに紅葉の撮影では、葉が揺れない速さを選べるので、効果は大きいですね」

雨でもPLフィルターを使うということとは、目から鱗な情報ですね。最新機器と共に、新しい道具の使い方を見せてくれました。

思い出し
づくり
相談室

お客さまなんでも相談室
紅葉を撮影するのに
便利な道具って？・編

Q1 PLフィルターを使用するのいいと聞くのですが？



A1 余計な反射を抑えて紅葉をきれいに見せてくれます

PLフィルターは余計な光の反射を防ぎ、被写体本来の色を写せるフィルターです。空の撮影で使えば、空がより青く、雲はより白くなります。水面やガラス面、紅葉では、反射光を抑え、

明るすぎる写真になつたり白色になつたりするのを防ぎます。色のコントラスト（明暗差）が大きくなり、より印象的な写真になるのです。実際に使うときはレンズに取り付けます。ただし、ただ付ける

ただ、ただ付ける

PLフィルターを使い、水面の光の反射を抑えています。水に写った紅葉とシラサギが鮮やかに写りました

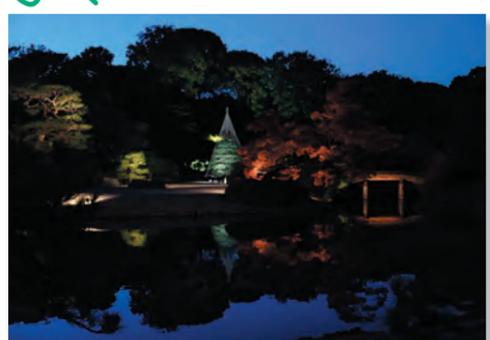
機材はコレ!
PLフィルター



光は空気中の塵や埃で乱反射し、見た目通りの写真に写せない原因のひとつになっています。その反射を取り除き、被写体本来の色を写してくれるのがPLフィルターです。空や夕陽、芝生などの撮影に多く使われ、紅葉撮影でも効果を発揮します。

Q2 紅葉のライトアップをきれいに撮りたいのですが？

A2 会場で利用できるなら、三脚とレリースは必需品です。暗い場所で撮影するとシャッタースピードが遅くなり、手ぶれが起きやすくなるので、三脚は必須です。もし三脚が使用できないなら、ISO感度を高めたり、手ぶれ補正機能がついたレンズを使用したりします。高感度にすればノイズが発生するかもしれませんが、手ぶれしませんが、手ぶれしないシャッタースピードに設定できるように、ISO感度を上げましょう。



ISO感度を6400まで上げ、シャッタースピード1/40秒で撮影。手ぶれもなく、ノイズも目立たず撮影できています

Q3 身近な場所で気軽に紅葉を撮りたいのですが？

A3 思い切った構図で「秋」を切り取る方法がおすすめです。望遠レンズやマクロレンズを使って、赤い葉っぱ1枚を大胆にクローズアップしてみましょ。どこにでも落ちていているようなありふれた葉っぱでも、それだけで印象的な写真になりますよ。さらに、被写体を写す角度、

光の当たり方や色の質、明るさの変化などを見て、さまざまなパターンで撮影し、自分の気に入った一枚を見つけてください。いつも以上に葉っぱでも、少し見方を変えてみるだけでイメージが変わり、また違った秋が楽しめます。



たった1枚の葉っぱですが、大胆にクローズアップして印象的な写真になりました。近所でも試すことができます

機材はコレ!

望遠レンズ、マクロレンズ

望遠レンズは、通常よりも焦点距離の長いレンズのこと。長い焦点距離で撮影すれば画角は狭くなります。マクロレンズは、被写体を等倍から1/2の大きさで映せるレンズのこと。一般的なマクロレンズは最短撮影距離が短く、普通のレンズよりも被写体に近づいて撮影できます。



機材はコレ!

手ぶれ補正機能



1/40秒は手ぶれが発生しやすいシャッタースピードですが、手ぶれ補正機能を使っていることで、ぶれずに撮影できています。ただし、三脚を使うときには手ぶれ補正機能はOFFにしましょう。

コレがあれば
もっと便利

少ない機材で紅葉の山に登る

少し上級者の方は、秋の紅葉を求めて山登りに行くかもしれません。でも、重たい機材を持ってしまふのは避けたいですね。高倍率ズームレンズなら焦点距離が広範囲なので、引きの写真も寄りの写真も一本で撮影できます。カバンはバックパックがいいでしょ。両手が自由になり、とっさのシャッターチャンスでもすぐに撮影できます。山の天気は変わりやすいので、急な雨から機材を守るように、レインカバー付属のものがおすすめです。



バンガード バックパック RENO 48
山に登って撮影するなら、バックパックは基本です。レインカバー付きのものなら機材を雨から守れます



hufa レンズキャップホルダー
撮影に夢中になってなくしてしまいがちなレンズキャップ。キャップクリップホルダーで定位置を決めましょ



※使用イメージ

JJC 簡易型撮影用カメラレインカバー
急な雨でも大丈夫。ひもを引っ張るだけでカメラを水から守ります。カバンに入れても荷物になりません



ハクバ くびの負担がZEROフック
首から下げたカメラの重さは大きな負担になります。「くびの負担がZEROフック」で、首の負担を和らげましょ

上記商品はカメラのキタムラネットショップで注文できます <http://shop.kitamura.jp>

カメラの達人



大西一雅さん

現像所と店舗を経験して30年。中学生の頃から一眼レフを使い始めました。鉄道写真が好きで、中でも貨物列車をメインに撮影しています。撮影感覚を忘れないように、月に1本程度ほどの撮影を続けています。



<http://www.kitamura.jp>

カメラのキタムラ

検索

お客さまなんでも相談室
050-3116-8888
受付時間10:00~20:00 年中無休

公園みどり

部門



撮影：杉本純子さん 立川市昭和記念公園



撮影：西田省吾さん 練馬区石神井公園



撮影：稲吉 淳さん 千代田区日比谷公園

公園はみどりの定番。たくさんの花や木が植えられ、訪れる人はその数々のみどりに見入られます。身近だけど、大切なみどり。撮影の練習にぴったりですね。

ベランダや庭みどり

部門



撮影：野田真愉美さん

自宅のベランダにもみどりがあるかもしれません。鉢植え、庭の雑草、壁に巻き付いたツタ……。新しいみどりに気づけるかもしれませんね。

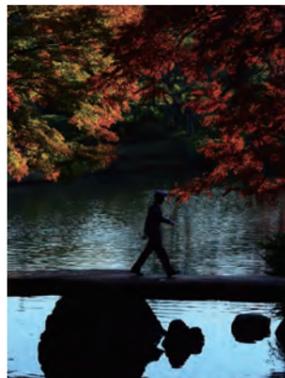
みどり東京フォトコンテスト 作品募集中

「残しておきたい、もっと増やしたい東京のみどり」をテーマに「みどり東京フォトコンテスト」を開催。作品を募集中です。東京都内のみどりならなんでも対象。6つの部門からご応募ください。お一人で何点でも応募できます。

詳しくは→P.16 >> 締切：9月30日(火)

自由にみどり

部門



撮影：野田真愉美さん 文京区六義園

他のどの分野にも当てはまらないみどりを撮影してみてください。例えば、学校や会社のみどりはありますか？通っているカフェやレストランにはありますか？

スマホでみどり

部門



撮影：野田真愉美さん 渋谷区代々木公園

撮影の場所も時間も選ばないのがスマホのカメラの強みです。散歩中でもデート中でも、ふと気づいたみどりにカメラを向けてみてください。

里山・川辺・海辺みどり

部門



撮影：山田春子さん 東久留米市落合川



撮影：山田春子さん 東久留米市落合川



撮影：山田春子さん 練馬区石神井川

里山、川辺、海辺。少し足を伸ばせば、東京にも自然はたくさん広がっています。水の流れる音と緑色の自然が、日頃の疲れを癒してくれます。

街中みどり

部門



撮影：中村 僚さん 新宿区四谷三丁目

撮影：浜口 哲さん 江東区月島



街の中にもみどりはあふれています。歩道や家と一緒に写るみどりには、人と自然の関係を垣間見るようですね。被写体を見つける練習にもなるかもしれません。

東京のみどりを撮る

02

おすすめの撮影地ガイド

残しておきたい、増やしたいみどり。あなたの周りにもありませんか？都内すべての市区町村で構成する、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」が「みどり東京フォトコンテスト」の写真を6つの部門で募集中。あなたのおきのみどりを応募ください。

新しい写真体験を 星景写真って知ってますか?

ナビゲーター・田中達也さん

「みんなで新しい写真体験を」はPCCのスローガンです。風景、人物、水中など、写真のテーマはさまざま。今回は写真家・田中達也さんに「星景写真」のお話を伺いました。PCCでは「星景写真」をテーマにした写真イベントを予定しています。次号以降もお楽しみに。

「EOS学園」の講師が監修を務める書籍第2弾、「EOS学園の人気講師が教える! 被写体・シーン別に学ぶデジタル眼」撮影「上達術」が発売されました。田中さんも監修として登場し、花火やオーロラなどの撮影を解説しています。



定価:
本体1,980円+税



広角レンズを使い、並んだ木々を前景に星の光跡を撮影しています。デジタルカメラでは長時間露出ができなため、4分露出した連続カットを比較明合成して一枚の作品に仕上げています。

次に、何をどう撮ればよいか? 初心者の人には、冬の代表的な星座のオリオン座がおすすめです。オリオン座は明るく、ファインダーでもよく確認できるので、景色との組み合わせが簡単にできます。これからの時期、東の空から昇って南の空を通り、

私が星空に初めてレンズを向けたのは中学2年のときでした。以来、星や夜空に映える風景を中心に撮影しています。星を撮影すると聞いて、本格的な天体写真を撮像する方も多いでしょ。しかし、デジタル化が進んだ現在は、多くのコンパクトカメラに星空モード機能が搭載されており、誰でも簡単に「星夜の風景写真」を撮影できるようなりました。

「星夜の風景写真」は、星空と、山並みや市街地のイルミネーションなどを一緒に写す写真を撮っています。よい作品にするコツは、風景を主役にする。星空の写し方も大切ですが、じつは風景の入れ方が作品の出来を左右します。明るいうちに撮影地を訪れ、その土地の様子を確認しておくロケハンが重要です。



田中達也
(たなか・たつや)
1956年、愛知県生まれ。医療ソーシャルワーカーとして精神障害者のケアワークに従事。その後、自然写真家として風景からオーロラまで幅広いジャンルを手掛け、繊細で美しい作品は海外でも高い評価を得ている。(社)日本写真家協会(JPS)・日本自然科学写真協会(SSP)会員

朝方には西へと沈んでいきます。こうした星の動きがわかると表現の幅も広がります。レンズは明るめの広角レンズがおすすめです。絞りがF4の場合、シャッタースピードは30秒、ISOは3200が基本。ピントはマニュアルで合わせます。オートフォーカスでは上手く測れません。ライブビューで一番明るい星に合わせて、点像がもつとも小さくなったなら、ピントリングをテープで固定します。三脚は必需品です。足下がしっかり固定できるものがないです。携帯用はおすすめしません。そのほか、赤色灯、コンパス、レンズの結露を防ぐためのカイロなどを持っていけば、撮影を助けてくれるでしょう。

誰でも簡単に星景写真を撮影できる!

※写真がヨコ位置の場合コチラ①を天方向に貼ってください。

天 ↑ 地	タイトル
○で囲んでください	
フリガナ	年齢
お名前	歳
	ご職業 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 主婦 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他
ご住所 〒	
都道府県	市郡
お電話番号 () -	

応募されるテーマを○で囲んでください

- ①街中みどり ②公園みどり ③里山・川辺・海辺みどり ④ベランダや庭みどり ⑤自由みどり ⑥スマホみどり

応募作品は未発表または発表予定のないものに限ります。他のコンテストへの二重応募または類似作品とみなされる作品は失格となります。



オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」

「みどり東京フォトコンテスト」

あなたの写真で東京のみどりを残しませんか?

締切間近!!
9月30日火まで

「後世まで残しておきたい、もっと増やしたい東京都の自然」をテーマに、「みどり東京フォトコンテスト」の写真を募集しています。応募部門は、公園、街中など、全6部門。あなたの写真で東京のみどりを伝え、見直すきっかけにしませんか。

① 審査員は第一線で活躍するプロの方々です。

- 田沼武能(写真家)日本写真家協会会長
山口勝廣(写真家)日本旅行写真家協会会長
板見浩史(元・写真専門誌『フォトコン』編集長)
平嶋彰彦(元・毎日新聞社出版写真部長)



② 写真雑誌などに掲載

- 『フォトコンライフ』No.61掲載予定
- 2015年カレンダーに使用され、東京都全62市区町村へ配布されます
- 上位作品は福祉施設などに寄贈されます



③ 応募部門

- ①街中みどり ②公園みどり ③里山・川辺・海辺みどり
④ベランダや庭みどり ⑤自由みどり ⑥スマホみどり
詳しくは→P.14

④ 賞金・賞品

- グランプリ(1作品)賞金5万円
部門賞(6作品)おもいでばこ(パフアロー デジタルフォト・アルバム)
特選賞(6作品)軽量スリムカメラバッグ(ハクバ写真産業)
準特選(10作品)スタジオマリオ無料体験券
入選(30作品)書籍『スマホおもしろ写真術』(ネコパブリッシング)

【応募サイズ】

はがきサイズ・2Lサイズ・6切・ワイド6切・A4・4切・ワイド4切

【応募方法】

- お一人様何点でもご応募いただけます
- 下記の応募用紙に必要事項を記入してください
- 応募用紙はみどり東京フォトコンテストのホームページからプリントできます
- 応募用紙は作品の裏側にセロハンテープでしっかりと貼り付けてください
- ノリ付けはプリントが曲がってしまう恐れがありますのでご遠慮ください
- 応募後の辞退はできません

【発表】

- 入賞者には直接郵送にてお知らせします
- コンテストの結果はみどり東京フォトコンテストホームページ(2014年12月頃)、『フォトコンライフ』No.61(2015年3月10日発行)で発表、本事業により発行される2015年カレンダーに掲載します

- グランプリ、部門賞、特選、準特選、入選の作品は原版(画像データ、ネガ、ポジなど)を提出していただきます。デジタルデータは返却しませんので、コピーを保存してご提出ください。ネガ、ポジについては2015年3月に返却予定です
- 提出期限までに原版の提出がない場合は、入賞を取り消す場合がありますので、あらかじめご了承ください
- 審査などの都合によりスケジュールは変更させていただく場合がございます

【応募作品について】

- 単写真のプリント応募(組写真は不可)
 - 2012年10月以降に撮影された作品をお送りください
 - 撮影地が東京都の作品に限ります
 - 東京都在住でなくてもご応募いただけます
- 応募作品のペーパーおよびフィルムメーカーに指定はございません。応募作品は未発表または発表予定のないものに限ります。他のコンテストへの二重応募または類似作品とみなされる作品は失格となります。被写体が人物の場合、ご応募に際しては、必ずご本人(被写体)の承諾をいただいでください。また、被写体が未成年の場合は、親権者の承諾が必要です。他人の著作権、肖像権を侵害するよう行為が行われた場合、それに関するトラブルの責任は一切負いかねます。入賞決定後に違反が判明した場合は、入賞を取り消させていただきます

【応募作品の著作権・使用权】

本コンテスト主催・企画運営団体、日本フォトコンテスト協会と協力・後援・協賛社は広報宣伝物への掲載を目的とし、入賞作品を無償で使用する権利を有します

【その他注意事項】

応募者本人が撮影し、すべての著作権を有しているものに限ります。他の人の名前を使用した場合は失格となります。応募用紙に記載いただく個人情報、入賞通知・賞品の送付など本コンテストを運営するために必要な範囲で使用させていただきます。入賞以外の個人情報は審査終了後、責任を持って破棄いたします。入賞された場合は入賞リストに記載され、主催、企画運営団体、みどり東京フォトコンテスト事務局および協賛各社の他、協力出版社で使用させていただきます。また、入賞された作品の「タイトル」と「撮影者のお名前」は雑誌や発表ポスターなどで広く告知されます

※「入賞」とはグランプリから入選まで、どれかの賞に入ることをあらわします

お問い合わせ・応募先

みどり東京フォトコンテスト事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-20-205 一般社団法人 日本フォトコンテスト協会内
☎03-3341-6939(平日10:00-18:00)
http://all62.jp/midori-photocon/

主催:特別区長会 東京都市長会 東京都町村会
企画運営:公益財団法人特別区協議会 公益財団法人東京市町村自治調査会
公園財団/(一財)ネイチャーズベストフォトグラフィージャパン/NPO法人 フォトカルチャー倶楽部/フォトコンライフ(双葉社)/旅行読売出版社
協賛:富士フィルムイメージングシステムズ/キヤノンマーケティングジャパン/ニコンイメージングジャパン/リコーイメージング/クラブツーリズム/ケンコー・トキナー/シグマ/タムロン/トリー・ハン/ハクバ写真産業/パフアロー/フレームマン/マンフロット/Tポイント・ジャパン/マイナビサポート (順不同)

後援:日本旅行写真家協会/(公財)東京都公園協会/(公財)日本野鳥の会/(一財)休暇村協会/(一財)公園財団/(一財)ネイチャーズベストフォトグラフィージャパン/NPO法人 フォトカルチャー倶楽部/フォトコンライフ(双葉社)/旅行読売出版社
協賛:富士フィルムイメージングシステムズ/キヤノンマーケティングジャパン/ニコンイメージングジャパン/リコーイメージング/クラブツーリズム/ケンコー・トキナー/シグマ/タムロン/トリー・ハン/ハクバ写真産業/パフアロー/フレームマン/マンフロット/Tポイント・ジャパン/マイナビサポート (順不同)

みどり東京フォトコンテスト

応募総枚数	[] 枚のうち [] 枚目
カメラ スマホケータイ 機種名	レンズ
絞りf	シャッター スピード
使用フィルター	使用三脚
フィルム	フィルム名 [] コマNo. []
デジタルカメラ	ファイルNo.(例:DCIMG123.jpg) []
スマホケータイ	ファイルNo.(例:SPIMG456.jpg) []
撮影地/東京都 市区 町村 (例 新宿区 新宿御苑)	撮影年月日 西暦 年 月 日

※黒ボールペンでご記入し、作品の裏にセロハンテープで貼ってください。ノリ付けはおやめください

最短5分

残したい思い出を 自動で選んでくれる

「ゆかいな家族」 高橋行雄さん



サイズはA4とA5から、表紙のデザインも選べます。



イヤールバムなら簡単に写真の整理ができます。

思い出シリーズ1

思い出を
残す
新方法

写真整理、もう面倒じゃない 写真選びとレイアウトが 自動でできるイヤールバム

「写真がたまって整理が追いつかないんです」
お出かけやイベントでお子さまを撮影し、写真を楽しんでいる蒲池さん。しかし、写真好きにありがちなこんな悩みが……。
「写真の整理が追いつかないんです。お出かけやイベントのたびに写真を撮るので、どんどん画像が溜まって困っています」
あとで整理しようとしても探すのに手間がかかり、目的の写真が見つからなくて、ストレスを感じることがありました。

イヤールバムで大満足

そこで写真のデータを用意していただき、イヤールバムを試していただきました。

イヤールバム かんたん3ステップ

- step 1 アルバムにしたい写真の期間を決める
- step 2 メディアを入れる
- step 3 アルバムのページ数を決める

イヤールバムは、撮影した期間とページ数を決めるだけでフォトブックに仕上げられるサービスです。膨大な量の画像の中から、表情や明るさなどで自動的に選ばれます。仕上がりがイメージも確認できるので、選び直すことも可能。その出来栄に、蒲池さんも大満足です。

「写真整理が面倒ではなくなった」

「イヤールバムを使ってからは、写真整理を面倒とは思わなくなりました。あんなに時間がかかっていたのがウソみたい。フォトブックは本棚に並べて、いつでもすぐに見返せます」
イヤールバムは、写真整理が面倒だと思っている方や、整理する時間がとれないという方にぴったりのサービスです。9月の末頃には、イヤールバムのスマホアプリも登場予定です。スマホで撮った写真データから直接フォトブックが作れるようになります。イヤールブックでより簡単に写真整理を。ぜひ一度試してみてください。

カメラのキタムラでおすすめし、現在テレビCMでも話題のフォトブック「イヤールバム」。お客様自身で、お持ちの画像データを使って体験してもらいました。



イヤールバム体験者
蒲池香保さん

<http://www.kitamura.jp>

カメラのキタムラ

SONY

カメラをもっと先へ。
BE MOVED



誰も作らなかつたカメラ。

α7 一眼に、新しい可能性を。 世界最小・最軽量* フルサイズ一眼

*α7R。35mmフルサイズセンサー搭載レンズ交換式デジタルカメラボディにおいて。2013年10月16日広報発表時点 ソニー調べ。外形寸法:約126.9(幅)×94.4(高さ)×48.2(奥行き)mm。質量:約407g(本体のみ)

◎商品を安全に使用するため、使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください ◎画素数表記にはCIPAのガイドラインに基づき、有効数字4桁以下を四捨五入しています ◎あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません ◎購入の際には、必ず「保証書」の記載事項を確認のうえ、大切に保管してください ◎SONY、αおよびαロゴはソニー株式会社の商標です ◎買い物相談窓口 ☎ 0120-777-886 携帯電話、PHS、一部のIP電話からは、050-3754-9555まで。受付時間 月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00 sony.jp/ichigan/

Brilliant Evolution —— 鮮やかな進化

28-300mm F/3.5-6.3 Di VC PZD

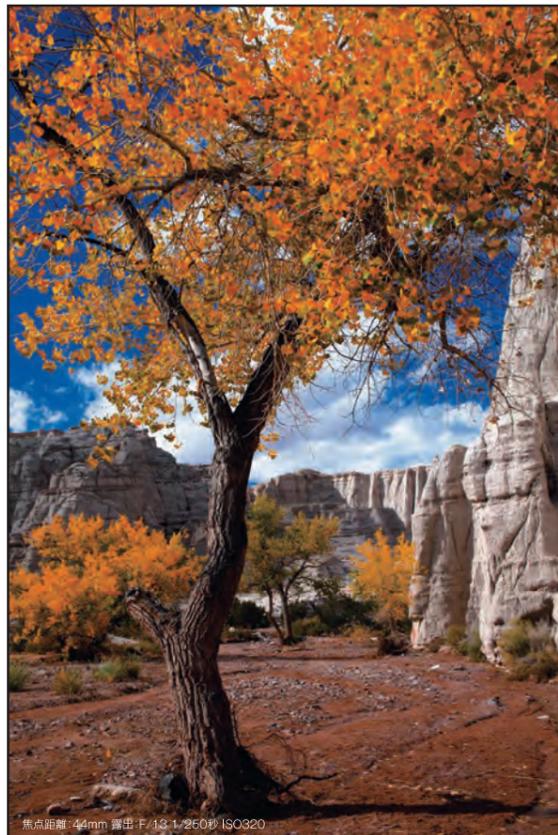
TAMRON
NEW
Di Series

透明感あふれる美しい画像とコンパクトなレンズボディ。長年培った技術を結集し、スタイリッシュに進化を遂げた高倍率ズームレンズが誕生。



Di: デジタル一眼レフカメラ用レンズ
Model: A010
希望小売価格 80,000円(税抜) 花型フード付
発売中: キヤノン用 / ニコン用 順次発売予定: ソニー用*
*ソニー用は、ソニー製デジタル一眼レフカメラボディ内に手ブレ補正機能を搭載しているため、手ブレ補正機構「VC」を搭載していません。

タムロンレンズ お客様相談窓口 ナビダイヤル
0570-03-7070 受付時間 平日9:00～17:00(土日・祝日・弊社指定休業日は除く) ※一般電話から市内電話料金にてご利用いただけます。ナビダイヤルをご利用できない場合は048-684-9889におかけください。FAXでのお問い合わせは048-689-0538に連絡ください。



焦点距離: 44mm 露出: F/13.1 250秒 ISO320

東京修理受付窓口
〒110-0005 東京都台東区上野6丁目16番22号 上野TGBビル3階 TEL 03-5817-7210 FAX 03-3837-1790
タムロンは、様々な産業分野において精密、高品質な光学製品を創出し、社会に貢献しています。
株式会社 タムロン www.tamron.co.jp

TAMRON®
産業の眼を創造貢献するタムロン

一生に一度きり。七五三の子どもの晴れ姿をスタジオで撮る

子どもにとって一生に一度の行事である晴れやかな七五三。
PCCでは、お子様の晴れ姿をプロならではの撮影技術で残すことをおすすめしています。
そこでスタジオマリオの各店長におすすめポイントを聞きました。



フリーマガジン「マリオクラブ」も店頭で配布しています

毎年、七五三のスタジオ撮影は11月15日前後の休日や祝日に集中し、なかなか予約が取れません。スタジオマリオでは、お得にゆったり撮影できる記念撮影を提案しています。できるだけ早く予約を入れることをおすすめします。事前に済ませておけば、七五三当日は、神社へのお参りや食事会など、ゆとりが時間がかかります。子どもも着物慣れし、当日のハプニングも避けられます。

店長おすすめ 1

スタジオ撮影はできるだけ早く予約するのがベスト



ザ・モールみずほ店 松本店長



店頭で購入でき、プリントや年賀状にできます

お買い上げいただいたすべての写真データを「マリオフォトCD」(5000円+税)にして、購入していただけます。CDはタイトル、撮影日、お名前を入れて仕上げることもできます。プロのカメラマンによる撮影だから、その出来栄にも大満足。家族や親戚、友人も喜んでくれるでしょう。お子さまの一生に一度の思い出を何度でも楽しめるように、CDに残してみませんか。

店長おすすめ 2

撮影した写真をCDにダビングして何度も楽しむ



牛久中央店 秋谷店長



着替えは何回でも無料。豊富に揃えた衣装をお楽しみください

スタジオマリオで好評なのが、約400点におよぶ着物やドレスなどを、何回着替えても無料になるサービス。さらに、衣装に合わせたヘアセットやメイクアップをほどこします。たくさんお着替えて、お気に入りの一着を見つけてくださいね。もちろん、思い出の品や洋服を持参されるの撮影も大歓迎。ぜひ一度、スタジオマリオで記念撮影をしてください。

店長おすすめ 3

衣装は何回着替えても無料



埼玉上尾店 中村店長



お客様 なんでも相談室 TEL.050-3116-8888 受付時間10:00~20:00 年中無休 専門のスタッフが電話で全サポート!

<http://www.studio-mario.jp>

スタジオマリオ 検索

まるで映画のよう

写真がスマホで動き出す

「好奇心と不安」 田原昭二さん



「うごく動画プリントAR」を使えば新しい写真の楽しみが広がります



「カメラのキタムラ動画プリント」(左)と「ARビューア」(右)。アプリをダウンロードすれば、あとは手順に沿って操作するだけ

動画の中から写真を抜き出す

まずはスマートフォンで動画を撮影します。動画ならシャッターチャンスを取り逃したなんてこともありません。次に「カメラのキタムラ動画プリント」という無料アプリをダウンロードします。あとは手順に沿って操作し、プリントを注文するだけ。これだけで動画から良いシーンを自動で選び、写真にプリントし

思い出シリーズ2

今ドキの思い出の残し方

「うごく動画プリント」ってなに？
スマホの動画をプリントして思い出もしないマジックを楽しもう！

写真とスマホの新しい関係誕生。今回は、写真とスマホをもっと楽しめる、こんな方法をご紹介します。

写真とスマホの新しい関係誕生。今回は、写真とスマホをもっと楽しめる、こんな方法をご紹介します。

「あ、今の表情サイコーだったのに！」動きが早くて狙っていた場面が取れなかった
写真では、シャッターチャンスが逃してしまうことがよくあります。そんな失敗を防ぎ、さらに写真・動画をもっと楽しめるサービスができました。「カメラのキタムラ」の「うごく動画プリントAR」サービスです。
動画の中から写真を抜き出す
まずはスマートフォンで動画を撮影します。動画ならシャッターチャンスを取り逃したなんてこともありません。次に「カメラのキタムラ動画プリント」という無料アプリをダウンロードします。あとは手順に沿って操作し、プリントを注文するだけ。これだけで動画から良いシーンを自動で選び、写真にプリントし



<http://www.kitamura.jp>

カメラのキタムラ 検索

研究 思い づくり 研究所

作り込んだ写真年賀状の効果を分析する実験

年賀状に写真を入れるとどんな効果があるかを実験

「PCCのシンクタンク」である思い出づくり研究所では、さまざまな思い出の残し方について調べています。知っていますか？ 秋は年賀状を考えるシーズンです。年賀状づくりで思い出写真を使ったり、年賀状のために撮影したりすると、作る側と送る側にもどんな影響があるのでしょうか。

思い出づくり研究所ではふたつの目標を持って実験を進めています。大きな目標は、思い出を有効活用して幸せになること。小さな目標は、今まで気づかなかった一面に気づくことです。今回は、写真を使った年賀状を制作し、作る側、受け取る側にどんな効果が表れたのかを確認する実験をしました。

写真年賀状の制作は思い出を深く残す可能性が広がる

今回の実験では、まず研究員たちに意見を聞きました。その

中には「送った相手に自分の現状をより具体的にわかってもらえらる」「作り手側にとって年賀状を作ること自体が思い出の整理にもなる」といった声がありました。

家族みんなで出かけました。撮影は河原へ行き、2時間以上の時間をかけて行いました。ボールも本物を使い、迫力が出るように演出しています。

そこで、より具体的な事象を知るため、「写真年賀状コンテスト2014」の大賞を受賞した杉山雅彦さんにお話をうかがいました。杉山さんの作品は、ご友人から依頼されて作成したもの。制作の際には、受け取った人に強い印象を残せるように考えたと言います。そこで題材をラグビーに決め、撮影のため

撮影後、ご友人は「家族全員にとって忘れることができない思い出になった」と話してくれました。より家族の絆を深める出来事になったようです。また、実際に年賀状を受け取った人からは「インパクトがあり、楽しむことができた」「自分でも作ってみようかと思った」などの声がありました。

制作者の杉山さんもご友人家族の感想を聞いて、今回の年賀状が思い出深いものになったと言います。さらに、この作品が



写真年賀状コンテスト2014 写真年賀状大賞 杉山雅彦さん(静岡県)



写真年賀状コンテスト2014 グランプリ 荒木啓介さん(大阪府)

「写真年賀状コンテスト2014」で大賞を受賞し、杉山さんと友人家族にとり、より思い出深い年になりました。

これらを踏まえ研究員たちが考察したところ、以下のような意見が出ました。「年賀状のために写真を撮り、その過程が一つのイベント、つまり思い出として強く残った」「受け取った側もインパクトのある年賀状だから、パツパツと素通りせずじつじつ眺めて楽しめる」「毎年継続すれば、より意味深い(思い出の確認・整理にもなる)年賀状にすることができるといった意見です。

まとめ
■写真年賀状作りは、家族の絆を深めるイベントにできる
■コンテストへの応募などで、思い出を強くする可能性が広がる
■制作者側・受け取り側、ともに強い印象を残すことができる

思い出づくり研究所とは



PCCのシンクタンクである思い出づくり研究所とは、早稲田大学の 大野高裕教授を所長に、思い出の残し方について調査・分析・考察をし、その重要性について情報発信していく研究室です

写真を使えばもっと伝わる 写真で年賀状、作りませんか？

近年、写真を使った年賀状が増えているのを知っていますか？ 干支のイラストだけでなく、より多くの情報を届けてくれる写真を使う。そんな流れが広がっているんです。写真年賀状なら、受けとった人も見て楽しく、心に残ります。今から写真年賀状を考えれば、これまでの写真を振り返ったり、新しく写真を撮ったりして、余裕をもって準備ができます。9月のうちから年賀状、考えてみませんか？

POINT 1 すごい、おもしろい、まさか WOW感



見た瞬間に人の目を驚かせ、楽しませ、幸せな気分させること。そんな年賀状は、相手の心にも残ります。

「WOW感」賞 浦田航介さん(東京都)

POINT 2 書いた人の「今」が伝わる 現在感



写っている人や物の「今」を感じられる写真。近況がわかれば親近感が生まれ、見る人の心を惹きつけます。

「現在感」賞 田邊真也さん(北海道)

POINT 3 自分の言葉で新年を表現 言祝ぎ感

年賀状と言えば「謹賀新年」。でも、これだとありきたりです。写真だけでなく、新年を祝う気持ちを自分の言葉で表現して、個性を出してみましょう。



「言祝ぎ感」賞 田原央子さん(高知県)

写真年賀状は日々の写真整理から

写真年賀状をつくる第一歩は、日々の写真整理から。普段からどんな写真があるかを把握していれば、いざ作り出すときにも写真選びが簡単にできます。写真の整理が大変という方にも、便利なサービスがありますよ→P.19

PCC会員でもっとお得に

「カメラのキタムラ」で年賀状を注文すれば、PCC会員割引が使えます。キタムラ店舗で受けとれば、会員証の提示で10%引きです。さらに、早割キャンペーン中は嬉しい割引も。スマホやタブレットからでも注文できるので、手軽に年賀状が作れますよ。

年賀状は「送るギャラリー」。年賀状コンテストに自慢の一枚を送りませんか

写真年賀状コンテスト2015

2014年12月10日(水)~2015年1月26日(月)

主催:年賀状普及協議会 後援:NPO法人 フォトカルチャー倶楽部 特別協力:カメラのキタムラ&スタジオマリオ

写真を使った年賀状を送るだけ! 詳しい応募要項は12月10日発行の次号「フォトライフ四季(Vol.91)」でお知らせします。

写真で伝える日本の伝統

日本の祭り写真コンテスト2014



2013腕自慢部門グランプリ「神輿が走る」石倉美義さん

格式ある大祭から、地元の子ども祭りまで、代々受け継がれてきた文化を、あなたの写真で残しませんか。PCCが主催する「日本の祭り写真コンテスト2014」で、みなさんの作品を募集しています。

【募集期間】
2014年11月15日(土)まで

【ご応募・お問い合わせ】
お近くのカメラのキタムラ店頭へ直接お持ちください。お近くに店舗がない場合は、下記への郵送でもご応募いただけます。
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-4-1 新横浜WNビル7F(株)キタムラ内
「日本の祭り」写真コンテスト2014事務局(当日消印有効)

【お問い合わせ先】
お客さまなんでも相談室
TEL:050-3116-8888
カメラのキタムラHP <http://www.kitamura.jp/contest/>
審査審査結果に関するお問い合わせにはお答えいたしかねます。

応募部門は3つ スマホ部門も

腕に自信のある方は「腕自慢部門」、初めての方は「腕だめし部門」、気軽に参加したい方は「スマホ部門」。どんな人でもご応募できる3つの部門に分かれています。

腕自慢部門



2013クラブツーリズム賞
「富士に万歳」早野由香さん

腕だめし部門



2013グランプリ
「雪中の裸参り」佐々木誠志さん
2013グランプリ
「最後の夕涼み会」荻原香理さん

スマホ部門



フィルム、デジタル、スマホもOK

秋山庄太郎「花」写真コンテスト2014



2013グランプリ「今年も来たなァ」荻山清和さん

写真家・秋山庄太郎のライフワーク「花」。写真芸術として「美しい花をより美しく撮る」がその原点です。秋山庄太郎創始による「『花』写真コンテスト」は、2002年の第1回から数え、今回で12回目を迎えます。「写真芸術の振興」と「福祉支援」、コンテストの志は今も受け継がれています。

【応募方法】

郵送で受付いたします。「秋山庄太郎「花」写真コンテスト」と明記の上、下記住所までお送りください。
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-4-1 新横浜WNビル7F (株)キタムラ気付 秋山庄太郎「花」写真コンテスト2014事務局
【応募用紙】
応募には応募用紙が必要です。下記ホームページよりダウンロードするか、カメラのキタムラ店頭でパンフレットを入手してください。
<http://www.kitamura.jp/contest/>

【応募規定】

A4/6切/W6切 カラープリントに限ります。フィルム(ネガ・ポジ)、デジタルのどちらでも可。他のコンテストなどに応募中や応募予定である作品、または過去に入賞した作品は応募できません。

【応募料】

3点単位で1,000円(例/1~3点:1,000円、4~6点:2,000円)。下記ゆうちょ銀行口座に入金ください。手数料は応募者のご負担をお願いいたします。
振替口座番号:00160-5-322203
加入者名:秋山庄太郎記念芸術文化振興協会

【主催】

秋山庄太郎「花」写真コンテスト実行委員会

【協賛】

秋山庄太郎写真美術館、カメラのキタムラ

【後援】

NPO法人フォトカルチャー倶楽部

【募集期間】
2014年10月31日(金)まで
※必着

最高の透過率

- ◎光学ガラスを使用したレンズガード*
- ◎高透過率と低反射率を兼ね備えた光学特性
- ◎精密加工による最新の薄枠設計

*コーニング社の光学ガラスを採用。コーニング(Corning)はコーニング社 Corning Incorporated, Corning NY の登録商標です。

SIZE LINE UP ▶▶▶

37mm / 40.5mm / 43mm / 46mm / 49mm / 52mm / 55mm / 58mm / 62mm / 67mm / 72mm / 77mm / 82mm

HAKUBA PHOTO AUDIO VIDEO ACCESSORIES

2014 DGP SUMMER DIGITAL GEAR AWARDS 金賞 レンズ関連アクセサリ

日本製 Made in Japan

ULTIMA

HAKUBA PROFESSIONAL LENS FILTER SERIES

アルティマ レンズガード

高透過率/撥水/防汚

過酷な環境下でレンズを守るエクストリームコーティング。

超低反射率0.3% / 高透過率を実現した光学性能

表面反射を極力抑え、レンズ性能を最大限引き出すことができます。

極めて高い撥水 / 防汚機能

水滴や汚れが付着しにくく、付着した場合でも容易に拭き取り可能。過酷な環境下でもガラス面を常にクリアに保つことができます。

NEW

XC-PRO レンズガード EXTREME LENS GUARD

SIZE LINE UP ▶▶▶

37mm / 40.5mm / 43mm / 46mm / 49mm / 52mm / 55mm / 58mm / 62mm / 67mm / 72mm / 77mm / 82mm

ハクバ

検索

●製品改良のため予告なく仕様、デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

ハクバ写真産業株式会社 お問い合わせ先 受注センター TEL: 0568(85)0898 FAX: 0568(85)0899

孤高の頂へ。

見る者を圧倒する、解像力。そして豊かな階調と描写力。画質と機動性の両立を図り、645Zは未知なる領域に挑む。



RICOH imagine. change.

PENTAX 645Zの特長

- 有効約5140万画素&43.8x32.8mm大型CMOSセンサー
- 35~125°のチルト式液晶モニター&ライブビュー
- 連続撮影約3コマ/秒、クイックビュー高速化(645D比)
- IMAGE Transmitter 2により撮影画像をPCへ高速転送
- Full HD動画撮影&4Kインターバル動画撮影
- 防塵・防滴構造 & 高耐久メカ機構

PENTAX 645Z

リコーイメージング株式会社

お客様相談センター: 0570-001313(ナビダイヤル)または03-4330-0008 www.ricoh-imaging.co.jp

テーマを決めた撮影会、目から鱗の講評会、大交流パーティー 「PCCの写交場」で一日中写真漬け

PCCが主導になり、写真好きが集まる大交流会「写交場」が6月下旬に東京で開催されました。顧問、インストラクター、スタッフ、会員、さらに会員以外の方も集合。普段は交流できない人たちが顔を合わせた貴重な機会に、いつもと違う出会いを果たした参加者は、どんなことを感じたのでしょうか。

光を探して 撮影会

午前中は徳光ゆかり先生を講師に迎え、日比谷公園で撮影会を実施しました。撮影ポイントをいくつか回り、各ポイントでテーマと制限時間を設けて撮影。撮影会を通した大きなテーマは「光を探そう」こと。同じ撮影ポイントでも、先生の光の探し方だと写真の印象がまったく変わります。先生の解説に参加者のみなさまも納得の様子でした。



「光を探そう」がテーマの撮影会では、同じ被写体でも撮影者によってまったく違う写真になりました

驚きの絶えない2時間半 作品講評会

午前中引き続き徳光ゆかり先生のもと、参加者が日頃撮影している作品を持ち寄り講評会を行いました。他の参加者のコメントが参考になったのはもちろんのこと、撮影者自身も「何をどう撮りたかったか」をもう一度見直す時間になりました。先生からもらえる講評も納得の内容。受講者からは驚きの声も絶えません。



トリミングスケールを使い講評する徳光先生。参加者も納得の声を上げています

画面からリアルな場に 「写交場」交流パーティー

夕方からはPCCの関係者を一堂に集めて「写交場」交流パーティーを開きました。Facebookグループ、フォトインストラクター、サークルメンバー、Gサミット出席者など……。さまざまな方々が集まり、新しい写真仲間が輪が



丹地先生(中央左)と記念撮影。彦久保さん(写真右上)は、Facebookグループで開催された「PCC全国交流Facebook第1回グランプリ大会」でグランプリを受賞しました

広がりました。中には名古屋や大阪、徳島から、遠路はるばる参加してくださった方も。特にFacebookグループのメンバー同士は、普段はパソコン画面越しに交流していますが、実際に顔を見るのはこれが初めて。「初めて会ったのに初めてのようない感じがしない」との声が多く聞かれました。パソコンの画面から飛び出した新鮮な出会いも、今回の「写交場」の魅力です。



Facebookグループでは誰でも気軽に写真が投稿でき、全国の方からコメントがもらえます。現在の参加者は約450名です

参加者の声

- リアルな初集合。あっという間の時間でしたわ。お疲れ様でした。最後は顔と名前が一致していました。次回も楽しみです(＃^_^＃)
- 徳光先生の、沢山の目からうろこの実践講義で、とても楽しい時間を過ごすことができました。
- 今後の写真撮影に大いに役立つ(役立てられるかな?)ものと思っています。

ワンクリックでグループに参加する



Facebookグループに参加するには、グループページにアクセスして「参加する」をクリックするだけ。写真を投稿して、すぐにコンテストに参加できます。



あこがれの先生との交流や、記念撮影 あの受賞作品の撮影秘話も

パーティーにはPCC顧問の田沼武能先生、丹地敏明先生、沼田早苗先生、山口勝廣先生も登場。徳光先生も午前中に続きお越しいただき、巨匠たちが勢揃いしました。参加者のみなさんは先生に自分の作品を見せて講評してもらったり、先生とツーショットで記念撮影をしたりして大盛り上がりです。またGサミット出展者から撮影秘話



普段は会えないメンバーとの交流。初めて会った人もたくさん。それでも、まるで昔からの知り合いだったようにすぐに打ち合わせました



を聞いたり、全国のフォトインストラクター同士で情報交換をしたり、普段はなかなか聞けない話や、できない交流が盛りだくさんでした。「写真に益々ハマりそうです」と、参加者の皆さんの大満足。「今度はもっと沢山の方との出会いを楽しみにしています」と、早くも次回の開催を期待する声もありました。



写真中央は顧問の丹地先生、田沼先生、沼田先生、山口先生、徳光先生。住んでいるところ、写真歴、撮影ジャンルを超えて交流していただきました

フォトインストラクター資格取得講座〈東京〉 受講者募集中!!

デジタルカメラやスマートフォンが普及し、誰でも写真を楽しめる時代になりました。撮影の知識が身に付けば、より深く、より面白い写真をとれるはず。あなたもPCCフォトインストラクターになって写真を撮る楽しみ・喜びを、多くの人に伝えませんか。



写真家／PCCフォトインストラクター養成ディレクター 徳光ゆかり先生
元西部毎日新聞広告制作局カメラマン。「東京ぶらり撮り・808」を毎日実施中。富士フィルムイメージングフォトゼミ講師などを務める。



相手の笑顔が 自分の笑顔

PCCではフォトインストラクターを募集しています。フォトインストラクターとは、写真教室やクラブを立ち上げて、撮影技術を伝える人のこと。「写真を共に喜びとする人を増やして絆を広げ、その楽しみを深める」というビジョンを掲げ、今日もその知識を伝えています。

資格取得後の ステップアップも

今年もフォトインストラクター資格取得のための講座を開催。会員のみならず対象に受講者を募集します。全4回の講座では、専門用語を使わない教え方や、作例づくり、作品講評のコツを学びます。各回課題制作もあり、深く学べる4ヶ月です。写真教室リハールなど養成ディレクターが総合判定し、認定の可否が決まります。認定後はご自身で写真教室やクラブを立ち上げ、写真の知識を広めましょう。さらに、講師を目指してステップアップすることもできます。あなたもフォトインストラクターになって、写真の楽しみをより多くの人に伝えてみませんか？

受講資格

- PCC会員
 - 国際文化カレッジ主催 フォトマスター検定2級程度の知識をお持ちの方
- ※資格取得は必須ではありません。お気軽にご相談ください。

2014年度開講予定

会場:PCC事務局(新宿)	
11月9日(日)	10:00~12:00(撮影) 13:00~17:00(座学)
12月14日(日)	10:00~12:00(撮影) 13:00~17:00(座学)
2015年	
1月18日(日)	13:00~17:00(座学)
2月15日(日)	13:00~17:00(座学)
受講料:39,000円(税込) 定員:20名	
申込みは電話またはウェブから	
npopcc 検索	
TEL 03-3356-3552(平日10-18時)	

秋色を写す術を撮影イベントで学ぶ

PCCの撮影イベント

PCC会員になると割引価格で受講できます 詳しくは→P31

次ページも、イベントいっぱい

東京 1日限定の撮影会 ワンデー撮影塾

コース名▶ワンデー関東

10月26日(日) おしゃれな街代官山を撮る
内山政治先生 代官山周辺 10:00~12:00
おしゃれな街代官山の街角風景を撮りつつ、被写体の発見と街角風景の撮り方をレクチャーします

撮影:内山政治

11月20日(木) 秋色を思いのままに
中田達男先生 昭和記念公園 10:00~12:00
同じ被写体でも、どう表現したいかにより、カメラのどの機能をどう使うかのノウハウが習得できます
※別途入館料がかかります

撮影:中田達男

東京・大阪 日経ナショナル ジオグラフィック フォトアカデミー 「プロの撮り方完全マスター」

コース名▶アカデミー

五十嵐大二先生 被写体・構図・光・露出の理解が深まります
参加費各回: PCC会員4,000円(税込) 一般5,000円(税込)

[大阪]読解編 「プロの撮り方完全マスター」

10月25日(土) モンベル本社 セミナールーム(本町) 13:30~16:30
ナショナル ジオグラフィックの写真と「プロの撮り方完全マスター」を教材に、被写体・構図・光・露出の理解が深まる第一歩の講座です

[東京]実践編 シリーズ1「露出を極める」

11月8日(土) 日経カンファレンスホール(大手町) 13:30~16:30
露出の基礎から応用まで。自分の気持ちに露出に込めるために必要なことを学びましょう

11月29日(土) シリーズ2「クローズアップの撮り方」

日経カンファレンスホール(大手町) 13:30~16:30
被写体に一步でも近づくと見えてくるこれまでは違う驚きの世界!マクロレンズも含め、クローズアップの極意を伝授します

1月31日(土) シリーズ3「ストロボ撮影の基礎から応用まで」

日経カンファレンスホール(大手町) 13:30~16:30
複雑で難しそうなのストロボも理屈さえ分かればこっちはもの!光を自在にコントロールし、幅広い表現を目指しましょう。(クリップオンストロボ使用。お持ちでない方は、貸し出しあり)

東京 なんとなく使ってしまうがクリップオンストロボの使い方マスター

コース名▶クリップオン

酒井宏和先生 結婚式での撮影やお子さんの写真を撮るときにも、知っておくと便利です

10月26日(日) Nissin Japan本社 スタジオ(高円寺) 1部 13:00~15:00
参加費: PCC会員4,000円(税込) 一般5,000円(税込) 2部 15:30~17:30

クリップオンストロボを買ってみようという方、使っているけどいまいちわからない方におすすめ。当日はモデルさんにも来てもらい、ストロボの角度や、設定などをわかりやすく説明します
※1部、2部同じ内容です(各8名様限定)



大阪 初心者から卒業 デジタルカメラに親しもう

コース名▶デジタル

渡邊翔一先生 自分で考えて写真を撮影できるようになります

11月3日(月・祝) 大阪写真会館 14:00~16:30
オート撮影モードから卒業。自分で露出をコントロールしましょう



室内で撮影知識などを養う講習会 平日開催 初心者の方におすすめ

神奈川 被写体へのアプローチ方法がわかるフォトメソッド

コース名▶メソッド

岡野清人先生 その時期ならではの被写体の良さを工夫して引き出そう

10月18日(土) 工場夜景バスツアー

JR川崎駅集合 18:00~21:00
川崎市観光協会とのコラボ。三脚を立ててじっくり撮影します
※ツアー代 約3,000円が別途かかります

撮影:岡野清人

11月24日(月・祝) 北鎌倉の彩を撮る

鎌倉市周辺 10:00~12:00
晩秋の北鎌倉の紅葉を撮る。光を読み取り、印象に残る紅葉写真を撮るテクニックを教えます

撮影:岡野清人

12月21日(日) 横浜イルミネーション撮影会

横浜ランドマークタワー周辺 17:00~19:00
ISO感度を上げて人気のスポットを撮ろう
※ランドマークタワー入場料1,000円(税込)が別途かかります

撮影:岡野清人

東京・埼玉 撮影と講習会でゲングン上達 これで納得撮影術

コース名▶納得

服部考規先生 ISO感度を駆使して、三脚を使用しなくてもブレないように撮影してみましょう

10月26日(日) 「市着田の曼珠沙華」講習会

新宿文化センター 14:00~16:00
9月に実施した「市着田の曼珠沙華」の講習会です

11月23日(日) 関東神社巡り「平林寺の紅葉を撮る」

埼玉県 平林寺 10:00~12:00
紅葉の名所・平林寺で色鮮やかな寺社風景を堪能しましょう
※別途拝観料がかかります

撮影:服部考規

12月14日(日) 「平林寺の紅葉を撮る」講習会

新宿文化センター 14:00~16:00
「平林寺の紅葉を撮る」の講習会です

東京 状況の違う撮影でレベルアップ デジカメマスター

コース名▶デジカメ

種清 豊先生 被写体を観察する目を広げます

10月5日(日) 湾岸都市風景

天王州アイル~品川 10:00~12:00
建築物やボードウォークなどの人工物のカタチ、デザインを観察してイメージ力を高めて被写体を狙います

撮影:種清 豊

11月9日(日) 洋館とバラの風景

鳩山会館 10:00~12:00
バラは撮影の難易度が高い花です。背景とのバランス、花の形がよく見える高さや焦点距離を考慮して撮影します
※別途入館料がかかります

撮影:種清 豊

12月7日(日) 湾岸都市・洋館とバラ 講習会

新宿文化センター 14:00~16:00
上記2つの撮影会の講習会です

プロはここが違う!! 写真家がプロの撮影テクニック伝授「プロの撮り方完全マスター」講座

共催:日経ナショナル ジオグラフィック社・NPO法人 フォトカルチャー倶楽部



「ナショナル ジオグラフィック プロの撮り方完全マスター」(日経ナショナル ジオグラフィック社 4,600円+税) 今回の講義のテキストです



前回のアカデミーの様子はブログでご紹介しています。「らくあれば、らくばっかり」で検索

プロが直接撮り方を教える
5月に開催した被写体・構図・光・露出の理解を一気に深める講座、日経ナショナル ジオグラフィック フォトアカデミー「プロの撮り方完全マスター」の続編を開講します。ナショナル ジオグラフィックの写真と、同社発行の『プロの撮り方完全マスター』を教材に使い、写真家の五十嵐大二先生が解説します。参加者からは「ナショナル ジオの真家の撮影技術を知ることができた」「日本画を使った構図の説明がわかりやすかった」などの感想とともに、続編の開講を望む声も数多くいただきました。普通の写真とプロの写真の何が違うのか。迫力ある写真の数々を見ながら解説するので、確実にセンスアップが期待できる講座です。

すべての講座で「プロの撮り方完全マスター」(日経ナショナル ジオグラフィック社、本体4,600円+税)が必要です。当日も販売いたします。

※当セミナーの申し込みのための個人情報はPCCが取得した上で、日経ナショナル ジオグラフィック社に第三者提供します。以後、個人情報は日経ナショナル ジオグラフィック社の個人情報保護方針により管理されます

各テーマをさらに詳しく解説する3つの実践シリーズを開催します。1回目は「露出を極める」、2回目は「クローズアップの撮り方」、3回目は「ストロボ撮影の基礎から応用まで」と、各回でテーマをさらに深く掘り下げて学習。参加者の「1つ1つのテーマをもっとじっくり学びたい」という声にお応えし、機材やテクニックなど、より多くの内容を伝えられるようにしました。プロの撮り方を学びたい方、平凡な写真から卒業したい方、あなたのご参加をお待ちしています。開催日時や会場などは↓P.29

Advertisement for DRY-CABI dehumidifier. Features include: 超 ECO 設計 (Super Eco Design), 一般用小型シリーズ (General Purpose Small Series), 便利な! トップコンセント付 (Convenient! Top Outlet), 世界初 スペシャルシリーズ デジタル・デュアル湿度計 (World's First Special Series Digital Dual Humidity Meter), 防湿庫ドライ・キャビに画期的な光触媒 (Revolutionary photocatalyst in dehumidifier), 乾燥力が業界最小 (Lowest drying power in industry), 無音・無振動 (Silent and vibration-free), ハイテク技術 (High-tech technology), 長寿命・高信頼性 (Long life and high reliability), 棚板式なので棚板いっぱい広く使えます (Shelf-style so shelves are used widely), 全機種小物の収納に便利なトレー付 (Tray for small object storage in all models).

写真で困ったことはなんでも聞いてください

講師陣 あいうえお順

 島本靖治先生 公民館クラブや、バスツアーなどなど、多方面で写真指導実施中	 佐々木勇先生 デジカメの楽しさを多くの方に伝えたい。初心者大歓迎	 小林弥生先生 パソコンも得意。好きな被写体は生き物です	 倉本雅史先生 広島を拠点に活動。風景やポートレートが得意	 岡野清人先生 被写体の雰囲気や切り取る演出が得意	 内山政治先生 風景・街角写真家。写真は発見と出会い、何をどう撮るかです	 岩田賢彦先生 こころ優先で作品のレベルアップを手伝います
 渡邊翔一先生 みんなで目の前の光景を楽しむ時間を指します	 服部考規先生 竹内敏信氏の助手を経てフリーに。写真雑誌等で活動中	 中村敏郎先生 心ときめく風景との出会いを求めて撮影に出かけます	 中田達男先生 あわてず、ゆっくり、ひとつ、ひとつを身につけていきましょ	 種清豊先生 竹内敏信氏のアシスタントを経てフリーに。街スナップを撮影中	 田邊和宜先生 PCC設立時から講師を担当。福岡、大阪を中心に活動	

広島 カメラの使い方と撮影する楽しさを体感 **フォトウォッチング** コース名▶ウォッチング

小林弥生先生 倉本雅史先生 作品作りに必要な被写体の見つけ方、表現が身に付きます

10月26日(日) 神楽を撮りたい
神楽門前湯治村 10:30~12:30
動きのある被写体の捉え方、望遠レンズを使ったステージ写真の撮り方をレクチャーします。広島市内から昼食入場券込みの送迎バス(別料金)を用意
※現地参加はご相談ください 撮影:倉本雅史

11月23日(日) 秋色に映える秋の宮島を撮る
宮島、厳島神社 10:30~12:30
紅葉の撮影ポイントごとに被写体を見つけて、光の捉え方・露出について説明します。初心者の方も気軽に参加いただけます 撮影:小林弥生

12月14日(日) 作品講評&年賀状作成
広島市西区民文化センター 10:00~12:00
神楽と秋の宮島の作品講評と、写真を使った年賀状を作成します

愛知 気軽に参加できる **ワンデイ撮影塾** コース名▶ワンデイ愛知

佐々木勇先生 色の使い方や、多重露出の撮影技法が学べます

10月11日(土) 今に生きる大正時代の美しさを求めて
名古屋「文化のみち」 9:30~12:00
モノクロームから色彩豊かなステンドグラス。ホワイトバランス、色補正で好みの色を再現します
※別途入館料がかかります 撮影:佐々木勇

12月13日(土) クリスマスを前にメルヘンの世界をカメラに収める
安城市・デンパーク 13:30~16:00
クリスマス飾りをより素敵に撮影する方法を学びます
※別途入館料がかかります 撮影:佐々木勇

愛知 いつもと違う撮影に挑戦 **実習で学ぶ撮影術** コース名▶実習

岩田賢彦先生 道具を使っていつもと違う撮影をしましょう

10月26日(日) フラッシュを有効活用 夕景夜景と人物撮影
名古屋周辺 17:00~19:00
内蔵・外付けフラッシュを有効活用。夜景と人物を撮影しましょう
撮影:岩田賢彦

11月5日(水) 気軽に撮影 風景スナップ
豊橋総合動植物園(のんぼいパーク) 13:30~15:30
花咲公園と、来年の干支・羊を撮影しましょう
※別途入園料がかかります 撮影:岩田賢彦

12月14日(日) 構図力アップ マクロで切り取る紅葉撮影
名城公園周辺 13:30~15:30
マクロレンズとリングフラッシュで秋を表現しましょう。レンズとリングフラッシュの貸出しもあります
撮影:岩田賢彦

大阪 大阪工とご探検隊 **関西・商店街の楽しみ方** コース名▶工とご

田邊和宜先生 身近な街で被写体探し。スナップのコツがわかります

10月4日(土) 奈良・奈良町商店街 14:00~16:00
11月2日(日) 京都・伏見大手筋商店街 14:00~16:00
12月6日(土) 神戸・長田商店街 14:00~16:00
庶民の生活ぶりがうかがえる商店街で撮り歩き

京都・大阪・兵庫 実習と座学でレベルアップ **実習で学ぶ撮影術** コース名▶実習

岩田賢彦先生 今回は平日講座も開催

10月15日(水) 気軽に撮影 風景スナップ
堺市ハーベストの丘 10:00~12:00
コスモス咲く公園と来年の干支。羊を撮影しましょう
※別途入園料がかかります

11月8日(土) フラッシュを有効活用 夕景夜景と人物撮影
神戸ハーバーランドモザイク周辺 17:00~19:00
内蔵フラッシュや外付けフラッシュを有効活用していきましょう
撮影:岩田賢彦

12月6日(土) 構図力アップ マクロで切り取る紅葉撮影
宇治市周辺 10:00~12:00
マクロレンズとリングフラッシュで秋を表現。レンズとリングフラッシュの貸出しもあります
撮影:岩田賢彦

12月17日(水) デジタル一眼カメラ レッスン
大阪写真会館 14:00~16:30
初心者からベテランまで、使い方と撮り方を学びます。待望の平日講座です

奈良・大阪 各地で異なる学びがある **ワンデイ撮影塾** コース名▶ワンデイ関西

10月11日(土) 秋のひな祭りを撮る
島本靖治先生 富田林市寺内町 10:00~12:00
寺内町で「後の雛まつり」として行われる「菊雛」と言われる行事を撮影します。歴史ある日本家屋の寺内町で、春とは違う雛まつりを表現してみましょう
撮影:島本靖治

11月3日(月・祝) 中之島の秋バラと 広角スナップ
渡邊翔一先生 大阪中之島公園 10:00~12:00
マクロでバラをきれいに撮るとともにレンズの広角側を使ったスナップも意識して撮ってみましょう
撮影:渡邊翔一

11月15日(土) 古都奈良の秋風景を撮る
中村敏郎先生 奈良公園 10:00~12:00
自然豊かな奈良公園。木々の色づいた公園では鹿が迎えてくれます。秋の雰囲気を感じてみましょう
撮影:中村敏郎

福岡 新しい撮影に挑戦 **実習で学ぶ撮影術** コース名▶実習

岩田賢彦先生 来年の干支を撮影します

10月12日(日) 気軽に撮影 風景スナップ
ももーらんど 13:30~15:30
来年の干支・羊を撮影します
撮影:岩田賢彦

11月24日(月・祝) 構図力アップ マクロで切り取る紅葉撮影
大濠公園日本庭園 13:30~15:30
マクロレンズとリングフラッシュで秋を表現。レンズとリングフラッシュの貸出しもあります
撮影:岩田賢彦

12月23日(火・祝) フラッシュを有効活用 夕景夜景と人物撮影
福岡ベイスайдプレイス 17:00~19:00
内蔵フラッシュや外付けフラッシュを有効活用していきましょう
撮影:岩田賢彦

大阪・広島・福岡 小さな世界を再発見 **新・マクロ撮影術** コース名▶マクロ

田邊和宜先生 身近な素材を活かしたマクロレンズ・マクロ機能の使い方を解説します

福岡 **10月11日(土)**
かししかえん(撮影会) 10:00~12:00
福岡市新光ビル(セミナー) 14:00~16:30

広島 **11月8日(土)**
広島市植物公園(撮影会) 10:00~12:00
広島市植物公園内会議室(セミナー) 14:00~16:30

大阪 **12月7日(日)**
服部緑地緑化植物園(撮影会) 10:00~12:00
大阪写真会館(セミナー) 14:00~16:30
撮影:田邊和宜

お申し込み方法は3通り

お電話でお申し込みの方は
PCC事務局
Tel **03-3356-3552**
でお申し込みください
受付時間 10:00~18:00(土日祝は除く)

FAXでお申し込みの方は
下記申込書にご記入の上
PCC事務局
Fax **03-3356-3559**
にお申し込みください

ホームページからお申し込みの方は
http://npopcc.jp
または
フォトカルチャー倶楽部 検索
ウェブ登録してお申し込みください

お申し込み~お申し込み完了までの流れ



各イベントの参加費は、それぞれ
PCC会員3,000円(税込)、
一般4,500円(税込)
〔「プロの撮り方完全マスター」
「クリップオンストロボの使い方マスター」を除く〕
の講座は、撮影会とセミナーの両方に参加されると1,000円引きになります。会員さまでご夫婦でご参加の場合は、お二人とも会員価格でご参加いただけます。別途入園料など費用がかかる場合があります。詳しくは受講チケットでご案内いたします。

2014年『セミナー・撮影会・写真教室』 参加申込書 このページをFax用紙としてお使いください

1.開催日・コース名 () () () () 月 日	2.開催日・コース名 () () () () 月 日	3.開催日・コース名 () () () () 月 日	4.開催日・コース名 () () () () 月 日
お名前		ご住所 〒..... 都 道 府 県	
該当するものを○で囲んでください フォトカルチャー倶楽部会員様 (会員番号)		電話番号 () () () () () ()	携帯電話番号(お持ちの方はご記入ください) () () () () () ()

(注意事項) ※当日、現地での参加費お支払いはお受けできません※当日、飛び入り参加はお断りします※欠席の場合は必ずご連絡ください。尚返金はできませんのであらかじめご了承ください※振り込み手数料はお申込み者負担となります。天候、その他の理由で順延・中止、あるいは内容を変更しての実施となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
(個人情報取扱いについて) NPO法人フォトカルチャー倶楽部は、イベント申込みの際に記入いただいた個人情報について、お客様との連絡や撮影に関わるご案内に利用させていただきます。

PCCのプレミアム会員になると 著名写真家の撮影テクニックも学べる 『フォトコンライフ』を年4回お届け

詳しい会員申し込みはP46へ

『フォトコンライフ』
付録DVDを覗き見

「黄金比」「捨て目」「PLフィルター」 雨の紅葉を撮るテクニク

村松公園で小雨に
映える紅葉を撮り切る

2013年秋、色鮮やかな紅葉を撮影するため、自然写真家の鎌形久さんが訪れたのは、新潟県五泉市にある村松公園。四季折々の花が咲く「花の公園」として知られる、新潟県随一の紅葉スポットです。

そんな有名なスポットでの撮影は、雨の中で行われました。「雨の日は光がまわってきれいなので、よく撮影に出かけます」「雨の日の撮影はPLフィルターが必需品です。水に濡れた葉の反射をPLフィルターで加減するためです」と鎌形さんは語ってくれました。

紅葉撮影のコツをきくと、背景が大事だと答えてくれました。「背景を簡略化してこそ写真が生きてきます。写真に広がりが出る黄金比を考えて木の位置を

決めていますね」

撮影の「黄金比」。これをも身につけると、印象的な写真が撮れるのでしょうか。

また、被写体を探すコツを聞くと「捨て目を使うことを心がけています」とアドバイスしてくれました。「捨て目」という聞き慣れない言葉も、DVDで紹介してくれています。

ほかにも谷口泉さんのデジタル講座などを収録。気になる全貌はぜひDVDでご覧ください。



「撮りたいものを撮るだけなら誰でもできる」と鎌形さん。どんなテクニックを見せてくれたのでしょうか

ただいま制作中

押本龍一さんが撮る「桜」

来年3月に発売されるフォトコンライフ61号では、写真家・押本龍一さんが登場予定。桜の撮影テクニックを紹介してくれます。編集部も思わずうなるその技術は、いったいどんなものなのでしょうか。どうぞ楽しみに！



鎌形 久(かまがた・ひさし)
1949年、千葉県生まれ。建築写真やスタジオ撮影を経験したのち、白鳥との出会いをきっかけに、1982年自然風景写真家として活動を始める。以後、四季の自然と生物の生態を撮り続けている。日本写真協会・日本野鳥の会会員。



紅葉写真のお手本帖

『フォトコンライフNo.59』2014年秋号 9月9日発売
定価：本体1,340円+税



特集
「紅葉写真のお手本帖」
今号の巻頭特集は、紅葉写真を賢く掲載。渓流、落ち葉、風景などを、紅葉と組み合わせるテクニックを紹介しています

付属DVD秋号
「イチからはじめる色表現」

「イチからはじめる色表現」
「秋色のある風景」
グランプリ決定の瞬間

自然写真家・鎌形 久に密着
「紅葉撮影 構図のコツ・色のワザ」

さらにも中身を覗き見!

自然写真家・鎌形 久さんの紅葉撮影に密着。コツやワザを印象的なキーワードで紹介してくれています

谷口 泉のデジタルカメラ講座 特別編3
「RAW現像実践編 明るさを補正してみよう」

RAW現像でありがちな失敗は何だと思いませんか? デジタル時代の作品づくりをお伝えする特別講座第3弾。谷口 泉さんが、料理に例えてわかりやすく説明してくれました

写真家・GOTO AKIさんと古市智之さんが審査員を務めた今回のテーマ別フォトコンテスト。二人の予想を超える作品が数多く集まりました

フォトカルチャー倶楽部最新レポート
「ひとがつながる、写真でつながる」

PCC会員なら「グループに参加」をクリックするだけで参加可能!

フォトカルチャー倶楽部がFacebookに「全国交流グループ」を開設。新しい出会いの場を提供しました。また、「みどり東京フォトコンテスト」の作品も引き続き募集しています

今日も楽しく写真の稽古

あなたの地域にもあります。おすすめの写真展・写真教室。
少し遠出してイベントに越境参加しませんか

東北

第39回 2014年全国公募写真展

「視点」宮城展

【日時】10月15日(水)～10月19日(日)
(9:30～17:00 最終日16:00まで)

【会場】宮城県美術館県民ギャラリー
〒980-0861 宮城県仙台市青葉区川内元支倉34-1

【料金】300円
【お問い合わせ】☎ 022-221-2111



北海道

グループ18%GRAY～橋本タミオと元気な仲間たち～

第6回写真展「ひかりと遊ぶ」

【日時】9月26日(金)～10月1日(水)
10:00～19:00

【会場】富士フィルムフォトサロン札幌
〒060-0042 札幌市中央区大通西
6丁目1番 富士フィルム札幌ビル1F

【料金】無料
【お問い合わせ】☎ 011-241-7366



甲信越・北陸

荒木経惟 往生写真集

愛ノ旅

【日時】8月9日(土)～10月5日(日)
9:30～18:00(観覧券の販売は17:30まで)

【休館日】9月16日(火)・24日(水)・29日(月)
【会場】新潟市美術館企画展示室
〒951-8556新潟市中央区西大畑町5191-9

【料金】一般 1000円(800円)、大高生800円(600円)
*中学生以下無料
*()は20名以上の団体料金
*障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料(受付でご提示下さい)
【お問い合わせ】☎ 025-223-1622



荒木経惟「愛のバルコニー」1982年

関東

増浦行仁が撮り下ろした、伊勢神宮と出雲大社の両遷宮

神の宮 伊勢神宮・出雲大社 奇跡の両遷宮

【日時】7月18日(金)～10月19日(日)
11時～19時(月曜日休館)

【会場】ライカギャラリー東京
〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1

【料金】無料
【お問い合わせ】☎ 03-6215-7070



「神の宮」より © yukihito MASUURA

中国・四国

「今がある」という幸せ

みんなのタイムスリップ写真館

【日時】9月30日(火)～10月13日(月・祝) 10:00～20:00

【会場】そごう広島店:4階～9階＝特設会場
〒730-8501 広島市中区基町6-27

【料金】無料
【お問い合わせ】☎ 082-225-2111(代表)



中部・東海

9人の写真家による20年に渡る日本の写真表現の変容を体感できる写真展です

「これからの写真」

【日時】8月1日(金)～9月28日(日)
10:00～18:00(金曜日20:00 月曜日休館、
ただし祝日の場合は開館し翌火曜日に休館)

【会場】愛知県美術館
〒461-0005 愛知県名古屋市中区東桜1丁目13-2
【料金】一般1,100円 高校・大学生800円 中学生以下無料
【お問い合わせ】☎ 052-971-5511(代)



川内倫子(無題)
(シリーズ「Illuminance」より)
2009年 タイプCプリント 作家蔵

関西

入江泰吉の眼 ファインダー 越しの古代奈良

【日時】7月5日(土)～9月28日(日)9:30～17:00(入館は16:30まで)
【休館日】月曜日(ただし9月15日は開館)、9月16日、9月24日

【会場】入江泰吉記念奈良市写真美術館
〒630-8301 奈良県奈良市高畑町600-1

【料金】一般500円 他
【お問い合わせ】☎ 0742-22-9811



九州・沖縄

第5回日本風景写真協会選抜展

四季のいろ

【日時】9月30日(火)～10月5日(日)
9:30～17:30(最終日16:00まで)

【会場】北九州市立美術館
〒804-0024 福岡県北九州市戸畑区
西鞆ヶ谷町21-1

【料金】無料
【お問い合わせ】☎ 093-882-7777



フォトカルチャー倶楽部(PCC)のいぶし銀

感性の違いが生んだ「画像詩」

全国6万5千人の会員、6万5千通りの写真の撮り方、写真への想いがある。

写真で人生を輝かせている人をピックアップする、「PCCのいぶし銀」。

今回はフォトインストラクター・佐々木 勇さんに話をうかがい、
写真を撮り始めたきっかけや、撮影術を語ってもらった。

佐々木先生と撮影しながら
学べる講座は→P.30

今月の いぶし銀



「写真を通じた
人との出会いによって
新しい視点を与えられたんです」



詩人と感性の違いをすり合わせて作る「画像詩」は、佐々木さんに新しい写真の世界を与えた

瞬間、きっと自分の好きな写真になると予感したんです。ファインダーを覗きながら調整した光の変化に感動したことも、よく覚えています」
急斜面にも構わず、木や草につかまりながら、夢中でそこまですり降りた。雲や風の具合によって、微妙に変化する光の加減。少しのアングルの違いでまったく異なる印象。白とびしないように、背景にも細心の注意を払う。足元がおぼつかないなか、動ける範囲で絶好の撮影位置を探した。そして見つけた一つの場所。逆光で撮られた一枚は、佐々木さんの予感どおり、お気に入りの一枚となって、額縁の中に飾られることになる。
写真を撮り始めたのは今から23年前、勤めていた会社の記念誌を作成するため、人文字の写真撮影を担当したことがきっかけだった。そのとき、頭の中で思い描いたイメージを写真で実現するには、カメラ特有の画角の違いを計算に入れなければならぬことを知った。それから佐々木さんは、どのようにすれば自分の思い通りの写真になるかを研究し、工夫するようになる。そうして写真を作り込む魅力に

とりつかれていった。その作風は、6年前から大きく変わり始めた。ホームページで知り合った詩人と、写真に詩文を印字する作品を共同で創作することになったのだ。「画像詩」と名付けられたその作品は、佐々木さんの撮影意欲を一層高めることになった。
「詩人の方が選ぶ写真と、自分がいいなと思う写真が違うんです。その感性の違いがとて新鮮でした。それからは、より心ままに撮影するようになり、新しい視点を与えられたんです」
新たな表現方法を模索することになった佐々木さん。好奇心と喜びに満ちたその声は、取材を終えた今でも覚えている。その嬉しそうな様子に、写真の可能性をあらためて知らされた気がした。



「自分の好きな写真になる」という予感が当たった1枚。通い慣れた場所で新しく発見した被写体だ
オリンパスEM-5、40-150mm F4.0-5.6 R、128mm、F8、1/640秒、
愛知県大府市 あいち健康の森公園

非日常を写す光と影

準特選



「黄金の夜明け」
東海林勇さん
(北海道札幌市)

「厳寒の只見鉄道」
笠原昭男さん
(埼玉県久喜市)

「秋宵」
鈴木彦三さん
(福島県福島市)



「落日に思ふ」 須藤雅一さん
(大分県大分市)
キヤノン EOS 1DX、EF 400mm F2.8 IS II、F20、1/6秒、
C-PL、三脚使用

二度とない一瞬を切り取る

準特選



「早乙女」
笹山千弘さん
(三重県津市)

「二人の世界」
長倉園輝さん
(奈良県橿原市)

「並走」
上嶋克也さん
(埼玉県朝霞市)



「幸せのおすそ分け」 石渡貴彬さん
(神奈川県横浜市)
キヤノンEOS 5D MARK III、EF17-40mm F4L USM、F5.6、
1/60秒

表情や構図で見せるストーリー

準特選



「お清め」
安田悦啓さん
(兵庫県神戸市)

「欠席一名」
菅原謙太郎さん
(千葉県富津市)

「紅葉遊泳」
斎藤康樹さん
(秋田県秋田市)



「リリパットの国で」 忽那博史さん
(埼玉県さいたま市)
ニコンD、AF-S DX 40mm、F3.2、1/1600秒

風景部門

特選



「今朝の秋」 伊藤正義さん
(静岡県浜松市)
富士フィルムFINE PIX HS10、4.2-126mm F2.8-5.6、F4、
1/300秒、三脚使用

人部門

特選



「オット危い！」 橋本昭三さん
(千葉県柏市)
キヤノンEOS 70D、F3.5-5.6 28-135mm、F5.6、1/2000秒

自由部門

特選



「グレンデ」
倉見千恵子さん(広島県広島市)
キヤノン5D、28mm、F8、
1/1000秒、PLフィルター

365日フォトコンテスト 2014 秋冬
作品募集

シャッターチャンスも応募のチャンスも365日。365日を通して、応募総数約10万点となる全国最大規模の写真コンテストです。全国のカメラのキタムラ店舗で受付しています。

[応募期間]
2014年11月15日(土)から
2015年3月15日(日)まで

[応募方法]
カメラのキタムラ店頭で受付

[募集コース]
腕自慢コース、腕だめしコース、
スマホコース

[問合せ先]
カメラのキタムラ お客様なんでも相談室
TEL.050-3116-8888



365日フォトコンテスト2013秋冬

構図が決め手
バランスをとって
ドラマを切り取る

365日、何気ないワンシーンを写真に写して応募するフォトコンテスト。
今回の応募総数は29,881点。
上位作品には、それぞれの感性を存分に生かした作品が選ばれました。

腕自慢コース

風景部門

グランプリ

「秋宝」

桐原篤仁さん(愛知県小牧市)



ニコン D7000、AF-S DX 16-85mm
f/3.5-5.6G ED VR、F9、2秒、ND8 +PL、
三脚使用

人部門

グランプリ

「寒さに耐えて」

佐々木良一さん(岩手県遠野市)



ニコンD300S、18-200mm、F11、
1/125秒

自由部門

グランプリ

「変な奴が来たぞ〜」

八井田晋さん(高知県高知市)



ソニーα700、タムロン18-200mm、F8

物語が伝わってくる写真

屏風絵のようなスケール

紅葉を絶妙なバランスの構図でまとめ、格調の高い作品に仕上げています。ここまで緻密に写るのかという驚きを持って選びました。PLフィルターとNDフィルターを重ねて使い、スローシャッターにしていることにも感心しました。これはPLフィルターで岩肌を黒っぽく落とし、紅葉の色を鮮やかにするためのテクニックです。屏風絵のようなスケールがあり、感動しました。

審査員：三好和善氏
1958年、徳島県生まれ。27歳のとき「RAKUEN」で、当時最年少で木村伊兵衛写真賞を受賞。NYジョージ・イーストマンハウス国際写真博物館に作品が永久保存されている。2004年藤本四八写真文化賞を受賞。

時代をつなぐひとつの絆

神社へ奉納するたいまつを持って集まった男衆を撮ったものだと思います。そこに混じった少年がこの作品の主役です。少年が伝統行事に参加して時代をつなぐひとつの絆になっていく。また、寒さに耐えて男衆の仲間入りをしている誇らしさ。ただ祭りを撮るのではなく、そこで起きているひとつのドラマを切り取って作品にしている。そのうまさ、この作品をグランプリにした要因です。

審査員：田沼武能氏
1929年、東京・浅草生まれ。木村伊兵衛氏に師事し、写真を学ぶ。72年にフリーランスとなる。(社)日本写真家協会会長、東京工芸大学芸術学部名誉教授、全日本写真連盟会長。

色々な物語が潜んだ1枚

1枚の中に色々な物語が潜んでいる印象です。この地方で暮らす人々と祭りの関わりの中で、子どもは慣れている様子ですが、犬は驚いて逃げています。日本の祭りに住む人々と子どもと犬と。それらの絆が見え、心を感じる作品になっています。ピントや構図も完璧です。逆光でとらえているのに美しい。黒くつぶれていないプリントへも気を配っています。完成度の高い素晴らしい作品です。

審査員：吉村和敏氏
1967年、長野県松本市生まれ。1年間のカナダ暮らしをきっかけに写真家としてデビューする。2003年カナダメディア賞大賞受賞、2007年写真協会賞新人賞受賞。

背景を整理して主役を引き立たせる

こども&赤ちゃん部門



グランプリ
「嬉しい幡祭り」 小田島守明さん
(福島県郡山市)
ニコン D800、AF-SVRED 24-120mmF3.5-5.6G、
F13、1/640秒、保護フィルター

状況が無駄なく取り入れられている

この作品は祭りの日の子どもたちの笑顔の主役に、右には祭りの行列、左には観客、真後ろには秋を感じさせる柿の木が写し出され、子どもの嬉しい状況が背景に無駄なく取り入れられています。要素がこれだけ凝縮されているのに背景がうるさくなることなく、子どもがイキイキと写し出されている素晴らしい作品です。

審査員：沼田早苗氏
大竹省二氏に師事し、1978年にフリーになる。「財界」「ヨミウリウィークリー」の表紙撮影、商業写真、取材撮影などを手がける。写真展開催多数。福音館書店より写真絵本『僕のおじいちゃんの顔』を出版。

ペット&動物部門



グランプリ
「仲良くお昼寝」 鈴木あかねさん
(岐阜県恵那郡)
キヤノン EOS Kiss X3、50mm、F5、1/20秒

光が作り出す平和な空気

ママさん、よくぞ撮りました。もはや構図どうこうではない素晴らしいシャッターチャンス。母だからこそ、家族だからこそ撮れる作品です。画面から子どもとネコの寝息が今にも聞こえてきそうです。光が作り出す陰影が平和な空気を演出します。動物と暮らすことの愛と幸せにあふれた1枚です。

審査員：増田勝正氏
東京都出身。イヌ、ネコ、ペット専門の動物カメラマンとして30年以上従事。アイメイト(盲導犬)のボランティア活動にも参加し、自らイヌ、ネコの繁殖・育成にかかわっている。

自然部門



グランプリ
「サウスポー」 長谷川孝さん
(埼玉県熊谷市)
ニコン D7000、VR150-500mm、F6.3、1/200秒

写真にしかできない技

瞬間を止めた美しさ、これぞ写真にしかできない技をなし得てお見事！何より動きを感じられるところが好きです。ピントが気持ち良く目にきていて良いですね。少々左側の空間が足りない感じですが、背景も余計なものがなく、被写体が浮き立つ浅めの被写界深度、全体に二色にまとまった色合い、露出、鳥のポーズ、「ほとんど完璧！」です。

審査員：池本さやか氏
朝日新聞社入社、写真部に勤務し写真を始める。水中写真家・中村征夫氏に師事、2002年以降は東京都を拠点に幅広く撮影。テーマは「Life is Eath」。

自由部門



グランプリ
「道飾り」 瀬戸優子さん
(北海道札幌市)
ニコン D7000、タムロン18-270mm f3.5-6.3、F4.5、1/60秒

目で見たものとはちょっと違う世界

スマホで撮る機会が増えてくことで、被写体に「寄って撮る」ことが普通になってきました。この作品は一眼レフで撮影されていますが、広角レンズでギリギリまで寄って撮ったもので、背景を適度にボかし、木漏れ日を取り入れ、色彩豊かに仕上がっています。実際に目で見たら、こんなにキレイに見える場所ではないのかもしれませんが。写真ならではのテクニックで、目で見たものとはちょっと違う世界を上手く表現した作品です。

審査員：川合麻紀氏
横浜生まれ。彩り写真家。独特の色表現と爽やかでやわらかい描写を得意とし、「The colors of nature」をテーマに花風景や、アフリカ、セイシェル等の自然や動物の撮影取材を行っている。公益社団法人日本写真家協会会員。

腕だめしコース

旅部門



グランプリ
「旅路の果てに」 藤原 岳さん
(茨城県つくば市)
ニコン D600、15-30mm、F3.5、25秒

日常を忘れさせ、記憶に残る1枚

悔しいほどに、いい旅をしていますね。旅先で見上げた夜空は日常を忘れさせ、記憶に残るもの。作者が宇宙とのコミュニケーションイメージを見事に具現化できたのは、定位置から見上げるようにカメラをセットし、星空から作者のシルエットまでを綺麗に写し出したから。そのシルエットも完全ではなく、わずかに服装のトーンを出すことで見る側の想像力を巧みにかきたてています。今すぐ旅に出なくなる、旅心を誘われる作品です。

審査員：清水哲朗氏
神奈川県横浜市生まれ。23歳でフリーランスとなり、独自の視点で風景写真からスナップ、ドキュメントまで、幅広く撮影する。日本写真協会賞新人賞受賞、公益社団法人日本写真家協会会員。

特選



「おんなの涙」

松岡利憲さん
(大阪府茨木市)
ニコン D800E、50mm
F1.8、F5.6、1/125秒

特選



「まなざし」

峯村公敏さん
(長野県長野市)
ペンタックス K-7、シグマ、F2.8、1/250秒

特選



「そっくり」

秋本英俊さん
(神奈川県鎌倉市)
ソニー α65、180mm、
F5.6、1/60秒、保護
フィルター

特選



「器用なひと」

越田倫子さん
(北海道札幌市)
ニコン D40X、
AF-S 50mm f/1.4G、
F1.4、1/250秒

特選



「凜」

細川陽子さん
(滋賀県草津市)
ニコン D5200、
18-270mm、F4.8、
1/30秒

特選



「ダンス」

川口淳一さん
(兵庫県姫路市)
キヤノン EOS 7、
90mm マクロ、F6

準特選



「きゅあ〜」
#☆△□×
安積孝治さん
(東京都板橋区)

準特選



「インもゲームも
したいなあ」
佐藤秀止さん
(北海道札幌市)

準特選



「タンポポの小手笛」
宮内妙子さん
(愛媛県新居浜市)

準特選



「困ったやだなあ」
「将来の夢」
堀裕司さん
(香川県高松市)

準特選



「かくれんぼ」
宮下武さん
(東京都青梅市)

準特選



「杉の太木と楳
斎藤梢さん
(東京都青梅市)

準特選



「それ、おいし〜」
山本慎一郎さん
(鹿児島県鹿児島市)

準特選



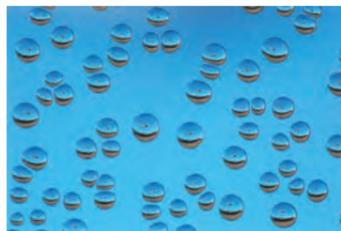
「美しき景色」
加藤公義さん
(静岡県菊川市)

準特選



「雨に唄えば」
柴田久子さん
(大阪府大阪市)

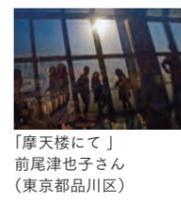
準特選



「ヒコーキが
いっぱい!!」

林 貴美さん(千葉県習志野市)
キヤノン EOS 5D Mark III、
EF100mm f2.8 MacroIS、F8、
1/500秒、三脚使用

「頑張る子供サンタ」
仙石一夫さん(兵庫県明石市)



「摩天楼にて」
前尾津也子さん
(東京都品川区)

「金魚の夢」
榎谷貴子さん
(徳島県阿南市)

「ジャンプ!」
茂呂夏実さん
(東京都文京区)

スマホコース



グランプリ 「点滴中“たいくつだな”」 大津山友里江さん(福岡県みやま市) カシオ EXILIM

ショッキングな絵柄 このグランプリ作品は、ペットの老犬が点滴を受けているという少々ショッキングな絵柄です。しかし「点滴中“たいくつだな”」というタイトルや、脱力したようなイヌの姿で、すごくほっとする仕上がりになっています。きっと賢いイヌたちで、遊びたいけど今は遊んじゃいけない時だとわかっていて我慢している、というようなことが作者の目線から伝わってきて、愛情豊かな作品になっています。

審査員：奈良 巧氏
1958年秋田生まれ。小学館に勤務し編集を務めた後、50歳で早期退職。現在は雑誌記者、カメラマン、編集者として活動している。季刊『フォトコンライフ』で「奈良巧カメラ」を連載中。

入選

- 「あわあわ」 宇都宮彩乃さん(愛媛県)
- 「楽しい旅へ出発」 井上愛弓さん(大阪府)
- 「秋空」 三井伸郎さん(大阪府)
- 「この世の終わりだ！」 桜庭絵理子さん(東京都)
- 「また会おうね」 新田知沙さん(東京都)
- 「眼光」 仲道典子さん(福岡県)
- 「六・中・小」 杉原まゆみさん(宮城県)
- 「雪の五稜郭」 堀出明広さん(三重県)
- 「結核指輪のかげの形は？」 谷口ふみさん(東京都)
- 「リハール」 鎌田克子さん(東京都)
- 「すきまからはあ」 三京直子さん(沖縄県)
- 「紅梅」 小笠原信広さん(兵庫県)
- 「たたずむ」 夏目暹風さん(愛知県)
- 「きずな」 北村信孝さん(大阪府)
- 「露天風呂?!」 谷村 治さん(京都府)
- 「冬の使者ユリカメ」 スポック監長さん(兵庫県)

スマホだからとらえられた一瞬



「御来光」 奈良正英さん(青森県北津軽郡) エクスベリア
「4ヶ月になりました!」 小林香里さん(岐阜県各務原市) ギャラクシー



「親子で読書」 今野 智さん(岩手県一関市) エリクソン
「一瞬」 丸山里佳さん(香川県高松市) アクオスフォン
「Yi Peng Festival」 溝口泰彬さん(高知県南国市) iPhone5



「ママ、見て見て〜」 森中礼子さん(大阪府)
「ふむふむ」 壺田はるめさん(新潟県)
「ライノ イン フォグ」 ナレンドラ・チョウダリーさん(神奈川県)



「ナニワパラダイス」 高塚孝一さん(大阪府)
「尼崎寺町多宝塔」 吉田雅明さん(兵庫県)
「初めてのりんごあめ」 杉浦香織さん(愛知県)

*** 審査員交代のお知らせ ***
「365日フォトコンテスト2014春夏」 腕自慢コース風景部門の審査員は、事情により事前に告知していた竹内 敏信先生から吉野 信先生に変更になりました。

吉野 信
1943年生まれ。1972年フリーの写真家として独立。日本国内だけでなく世界中を回り、野生動物や自然の姿を写し続けている。写真集に「TIGER ODYSSEY (美術出版社)」など。著書に「野生のカメラ(光人社)」など多数。日本写真家協会、日本写真協会会員。

その場の情景をとらえ 写真で感じる

フォトギャラリーキタムラ新宿で楽しいひとときを 葉が赤やオレンジに色づき、空気もすんで、出かけやすい季節になりました。フォトギャラリーキタムラ東京新宿で、秋に開催される予定の注目の3つの写真展をピックアップしました。



キャノンフォトクラブ スポーツ写真愛好会 設立10周年記念写真展 この一瞬に見せられてIII 2014年9月11日(木)～9月17日(水) 力強いフォーム、美しいシルエット、激突する肉体……。鍛え抜かれたアスリートの肉体が見せる一瞬を切り取ります。「人間の喜怒哀楽を表現する」ために、スポーツを通して、「人間を」、「その場の情景を」とらえることを目指してきました。スポーツの一瞬のドラマを、ぜひご覧ください。



木下夫婦写真展 北スペイン紀行 2014年10月30日(木)～11月5日(水) 私たちの結婚50周年を記念し、ツアーに参加した記録です。北スペインの「巡礼の道」に沿って、点在する街の風景と自然を撮影しました。実際に歩いた距離は10キロくらいで、残りはバス移動。巡礼者がやっととり着いた街で感じた感慨を、写真で感じていただければと思います。

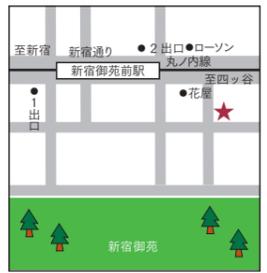


キャノンフォトクラブ 神奈川Nice Shot 畑 耕逸 写真展 2014年11月13日(木)～11月19日(水) 「フォトコミュニケーション」を通じ、さらなる写真表現の向上を図る杉本恭子先生の指導のもと、初めての作品展を開くことになりました。自然風景を愛でるように同志の交流も大切に、それぞれが自分らしい表現で、みなさまに写真をご覧いただけたらと思います。

フォトギャラリーキタムラ 東京・新宿の 今後の予定

121111111111010101010 9 9 9
4 272013 6 302316 9 2 251811
1212111111111010101010 9 9
10 3 26191205292215 8 1 2417

第3回 キヤノンフォトクラブスポーツ写真愛好会
第7回 航空写真クラブ写真展
第12回 キヤノンフォトクラブ第二支部写真展
第19回 風林火山写真展
第22回 東京デジタルフォトクラブ写真展
第23回 フォト燃写真展
第24回 女性の為の写真教室写真展
第25回 レディース写真展
第26回 キヤノンフォトクラブ神奈川 Nice Shot シヤトル会
第27回 はなの会写真展
第28回 DEザプリ写真展



フォトギャラリーキタムラ 東京・新宿 東京都新宿区新宿1-2-6 御苑花忠ビル1F ☎03-3341-7577 http://kitamura.jp/photogallery/ 10:00-18:00(土曜日11:00-17:00) ※写真展最終日は15:00まで 定休日/日・祝祭日

フォトブックサービス中 フォトギャラリーキタムラ東京・新宿では、ギャラリーをご利用のグループに、展示した写真や記念写真をまとめたフォトブックを一冊プレゼントしています。

Thanks for Coming 移りゆく一瞬を記録する



洪がき塾「私のお気に入り」 2014年2月20日(木)～2月26日(水) ニコンの柿本完二先生を塾長とした約20名の会です。今回は初めての写真展で、特にテーマを限定せず、それぞれの「お気に入り」を展示しました。ご来場のみなさまに作品を楽しんでいただけたと思います。



光と色彩を意識して 2014年フォトクラブ「ルミエール展」 2014年2月27日(木)～3月5日(水) 各自が日常生活や旅先で見つけたものを、それぞれの視点で切り取った作品約30点を展示しました。「ルミエール」はフランス語で「光」という意味。私たちは常に光と色彩を意識して作品を作っています。



移りゆく一瞬を記録する 横本達雄写真展「四季の主役たちII」 2014年3月6日(木)～3月12日(水) 咲き競う美しい花々。新緑が次第に色づきやがて散りゆく木々の姿。彼らは四季折々で私たちを癒し、楽しませてくれます。その素敵なたたずまい、移りゆく一瞬を記録した写真展を行いました。

「EOS M2」ダブルズームキット購入者対象

マウントアダプター「EF-EOS M」プレゼント

ミラーレスカメラ「EOS M2」のダブルズームキットの購入者を対象に、発売から10月13日までの期間、応募者全員にマウントアダプター「EF-EOS M」をプレゼントします。マウントアダプターを使用すれば、60種以上のEFレンズが使用でき、写真表現の幅が広がります。



新色も登場。お得キャンペーンを開催中です
更にキャッシュバックキャンペーンも実施中。最大7,000円!! 詳しくはHPをご確認ください。

実施期間:8月7日~10月13日(月・祝)まで

本体に鮮やかな新色“ベイブル”と“レッド”を追加しました



三浦 歩さん

秋に撮影を楽しむとおきネタ

キヤノン「EOS M2」は小型軽量で高画質なので、秋のトレッキングや登山に最適です。待望の新製品望遠ズームレンズ「EF M 55-200mm F4.5-6.3 IS STM」も軽量コンパクト設計。セットで持って、撮影に出かけませんか。

スナップや風景に最適。小型高性能ツァイス標準ズームレンズ

「Vario-Tessar T* FE24-70mmF4 ZA OSS」発売

旅行やスナップなどで使用頻度の高い24mmから70mmまでの全域でF4の明るさと高画質を実現したフルサイズ対応ズームレンズです。EDガラス1枚・非球面レンズ5枚を採用し高画質を実現、防塵防滴に配慮した設計でソニーα7シリーズのカメラとともに是非幅広い撮影シーンにご活用頂けます。



Vario-Tessar T* FE 24-70mm F4 ZA OSS 希少小売価格126,000円+税

ツァイスレンズ特有の高い描写性は今回も健在。抜けるような色の良さを体感してください



ソニーお買い物相談窓口
0120-777-886
<http://www.sony.jp/ichigan/>

スマホ、タブレットでいつでもどこでも

App StoreのNewsstandで電子書籍の販売をスタート!

読んで楽しく実用的な旅の情報を網羅した月刊「旅行読売」は、今年で創刊48年。伝統を大事にしつつ、新しいことにチャレンジし、進化を続けています。今年1月号からのオールカラー化に続き、9月号からはデジタル版の配信をスタート! App StoreのNewsstandで閲覧・購入できます。定期購読は1か月500円/6か月3000円/1年間5800円



進化を続ける「旅行読売」。9月号からは電子書籍の配信がスタートしました

電子書籍ならスマホとタブレットでいつでもどこでも見られます



須賀 薫さん

秋に撮影を楽しむとおきネタ

月刊「旅行読売」では、毎月、フォトカルチャー倶楽部のフォトインストラクターが、様々なテーマで、わかりやすく写真の撮り方を解説してくれる。「旅の写真 うまい!」のコン」を連載中。大変好評です!

アプリ不要のシャッターリモコン

TAXAN MeoSnap Pachil

「MeoSnap Pachil」は、離れた場所からiPhone/iPadのカメラのシャッターを切れるシャッターリモコンです。面倒なアプリのインストールは一切不要。動画撮影のスタート&ストップ操作も可能です。iPhoneとはBluetooth接続で、撮影可能距離は最大約30m、自分も入った集合写真の撮影も可能です。



シャッターリモコン Pachil (バチル)

iPhone用のスタンドも付属。集合写真でも使えます

加賀ハイテック相談センター
03-5540-9010
<http://www.meopad.com/products/pachil.html>

リモコンとスタンドを付属したかわいいデザインです



長崎誠司さん

おかげさまで7年目

掘り出しものどっさり
PCC賛助企業・団体のお得ニュース

PCC
賛助企業・団体の

旬情報発信所

いつもありがとうございます
賛助企業・団体のみなさま

NPO法人 フォトカルチャー倶楽部は
たくさんの賛助企業・団体のご支援を受けて
写真文化の普及に寄与しています
(五十音順・2014年8月1日現在)

特別賛助企業

カメラのキタムラ&スタジオマリオ

賛助企業

- 株式会社 DNPフォトルシオ
- 株式会社 Tポイント・ジャパン
- 株式会社 浅沼商会
- 株式会社 アビバ
- 株式会社 アマナ
- 株式会社 アルファパーチェス
- 株式会社 インプレスジャパン
- 株式会社 岡村製作所
- 株式会社 学研パブリッシング「CAPA」
- 株式会社 ケンコー・トキナー
- 株式会社 サティスファクトリーインターナショナル
- 株式会社 シグマ
- 株式会社 シャレー志賀
- 株式会社 新東通信
- 株式会社 スーパーホテル
- 株式会社 タムロン
- 株式会社 ニコンイメージングジャパン
- 株式会社 ニッポン放送
- 株式会社 日本カメラ社
- 株式会社 日本写真企画「フォトコン」
- 株式会社 日本旅行

- 株式会社 バッファロー
- 株式会社 ファースト
- 株式会社 ファミリーマート
- 株式会社 フェーチャー・デザイン・ラボ
- 株式会社 フランチャイズアドバンテージ
- 株式会社 フレームマン
- 株式会社 プレジデント社
- 株式会社 ホリプロ
- 株式会社 マイナビサポート
- 株式会社 旅行読売出版社
- Datacolor社
- オリンパスイメージング株式会社
- 加賀ハイテック株式会社
- キヤノンマーケティングジャパン株式会社
- クラブツーリズム株式会社
- ココヨファニチャー株式会社
- 小松印刷株式会社
- スターツコーポレートサービス株式会社
- スリープログループ株式会社
- セコム株式会社
- 総合警備保障株式会社
- ソニーマーケティング株式会社
- 千葉テレビ放送株式会社
- トリー・ハン株式会社

- 日刊スポーツ新聞社
- 日経ナショナル ジオグラフィック社
- ニッポンジャパン株式会社
- 日本テレネット株式会社
- ハクバ写真産業株式会社
- パナソニック コンシューマーマーケティング株式会社
- 富士フイルム イメージングシステムズ株式会社
- ベルボン株式会社
- マイクロソフト株式会社
- マンフロット株式会社
- リコーイメージング株式会社

賛助団体

- 秋山庄太郎写真芸術館
- NPO法人 日本上流文化圏研究所
- 一般社団法人 TOKYO INSTITUTE OF PHOTOGRAPHY
- 一般財団法人 休暇村協会
- 一般財団法人 ネイチャーズ
- ベストフォトグラフィージャパン
- 一般財団法人 年金受給者等健診事業支援協会

協力団体

- 公益財団法人 国際文化カレッジ
- 公益社団法人 日本広告写真家協会
- 公益社団法人 日本写真家協会
- 公益社団法人 日本写真協会
- 公益財団法人 日本野鳥の会
- 一般社団法人 日本写真文化協会
- 日本旅行写真家協会

世界最小ストロボを開発

ニッシンデジタル i40



ニッシンデジタル i40
21,570円(税込)

「i40」は、単3形電池4本が入るTTLストロボとしては世界最小のモデルです。大光量が必要、でも機材は少しでも軽くコンパクトにしたいという方に最適のアイテムです。他にも、上方90°左右ともに180°のパウンスが可能。ワイヤレスTTLリモート機能が付いているので、カメラと離して発光させることもできます。

ストロボを使えば紅葉も綺麗に撮影できます



園崎公之さん

秋に撮影を楽しむとおきネタ

ありのままの美しい色味を再現するのに適した光は太陽光です。ストロボは太陽の色温度と同じ5,600K。美しい紅葉をとるためにもぜひストロボを活用してみましょう。

応募部門は10部門、テーマは「日本の自然」

ネイチャーズベストフォトグラフィージャパン コンテスト2014 作品募集



今年も「ネイチャーズベストフォトグラフィージャパン2014」を実施します。現在作品を募集中です。部門は動物、水中など、全10部門。過去に撮られた写真は対象。グランプリ、準グランプリの5作品は米国・ワシントンDCに位置するスミソニアン国立自然史博物館に展示され、受賞者は同博物館で行われる授賞式にご招待いたします。

募集期間は10月31日(金)まで
一般部門 5点ごと 3,000円
ジュニア部門 5点ごと 2,000円

あなたの作品を世界へ発信するチャンスです

ステイブ・フレリーさん
(審査委員長)

秋に撮影を楽しむとおきネタ

美しい日本の秋を皆さんのカメラで捉え、世界へ発信しませんか。あなたの周りには「日本の秋」をそのままカメラで写してください。あなたしか撮れない一枚がきっとあるはずですよ。

シニア向けの健康診断

Gコース健診

「Gコース健診」は、健診を受ける機会が少なくなっている退職世代のみならず(年金受給者とその配偶者)に、全国の医療機関で、安心価格で受けられるよう設計された「けんしん・しえん協会」独自の健康診断です。年に一度は健診を受け、セカンドライフを満喫しましょう。

- 対象:年金受給者とその配偶者の方
- 契約医療機関:全国200か所以上
- 価格:25,000円(税別)
- お問合せ
(一財)年金受給者等健診事業支援協会 健康診断支援サービスセンター
〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町3-21-3
第一千代田ビル
(株)現代社会保険 内
TEL:03-5829-8878
電話受付時間:月~金曜日
(土日・祝祭日・年末年始除く)
10:00~12:00 13:00~16:00
FAX:03-5809-2069
URL: <http://www.g-kenshin.jp>

Gコース健診はシニアのための健診です。年に一度はご夫婦で健康診断を受けましょう。くわしくは、ホームページからお話です。

URL <http://www.g-kenshin.jp>
TEL 03-5829-8878



国内外で活躍中

株式会社サティスファクトリー インターナショナル

【お客様の廃棄物対策課!】サティスファクトリーインターナショナルは廃棄物管理や環境マネジメントをしている会社です。日本国内だけでなく、ベトナムを拠点に海外でも活躍しています。「廃棄物管理って難しい...」。そんなお客様の視点に立ち、長年の実績と専門的なノウハウを用いて、廃棄物対策課として問題解決に協力します。また、最新サービスのオンライン廃棄物対策システムもご利用いただけます。

詳しくは
お電話で
お問い合わせ
ください



●株式会社サティスファクトリーインターナショナル
03-5542-5300
<http://www.sfinter.com/index.html>

初心者でも大歓迎

ホリプロ・インブルーメント・ アカデミー生徒募集

3歳(幼稚園年少)~17歳(高校2年生)の男女が対象。特に経験や特別な技能は必要ありません。初心者の方でもまったく問題ありません。毎週レッスンに通学することが条件です。世界で一番の個性をホリプロと楽しく伸ばしましょう!詳しくはホームページをご覧ください。



22期生
いばらぎ
庵原涼香さん



ホリプロであな
たの個性を伸ばしませんか?

●ホリプロ・インブルーメント・アカデミー
03-4330-7700
<http://hia.horipro.co.jp/>

秋を楽しむとおきネタ

秋学期からの10月生のご応募を受け付けています。感動創造企業ホリプロが、将来を担う子供たちの豊かな心、才能を創造育成し、多くの幸せを提供していくことを提案します。個性を発見するスクールに参加してみませんか。

自然とふれあう 写真教室特別ツアー

デジタルカメラの基礎知識講座と 渥美半島の自然を撮る旅

デジタルカメラの基礎知識を学んで撮影に活かしましょう。日本旅行写真家協会の川名廣義氏・中村友一氏の2名が同行。初日は休暇村にて講座を受講後、園地で撮影。2日目は渥美半島の美しい自然撮影。3日目は講評会。初心者はもちろん、ベテランでも基本の復習ができる写真教室です。

期間:2014年10月15日(水)~17日(金)
宿泊:愛知県・休暇村伊良湖
集合・解散:豊橋駅
料金:2泊6食53,900円(税込)
1室1名利用は2,160円増し

先着順で
三脚も
無料レンタル
します

●休暇村東京ツアーデスク
03-3845-8652
<http://www.qkamura.or.jp/>

繁田朋佳さん



秋に撮影を楽しむとおきネタ

今回の撮影地は愛知県渥美半島・三河国定公園。静かな海や鷹の渡り、夕陽、朝陽など秋の美しい自然を被写体に撮影にチャレンジします。

「観る」「撮る」いいとこ取り MIL TOL 400mm F6.7 EDレンズ

その名の通り「観る」と「撮る」の両方ができる、望遠鏡をベースに誕生したマニュアルフォーカスの望遠レンズです。フォーカスの角度を大きくとったピントリングはじっくり遠景にピント合わせをすることが可能です。さらに別売りの「スコープアイピースキット」を取り付ければ、44倍のスコープとして活用できます。



希望小売価格68,000円(税別)
スコープアイピースキットは
23,000円(税別)

秋は
「中秋の名月」
月を綺麗に
撮りましょう

●株式会社ケンコー・トキナー
東京営業所
03-5982-1060
<http://www.kenko-tokina.co.jp>



黒沢泰一さん

秋に撮影を楽しむとおきネタ

月を撮るときは、望遠レンズを用意しましょう。写るサイズは「1/焦点距離mm」です。MIL TOL400mmなら、センサー上に4mmのサイズに写せます。

超薄型ボディと 「ライブコンポジット」機能搭載

オリンパス「OM-D E-M10」

超薄型ボディながらも、一眼トップクラスの高い描写性能を実現し、高い操作性を備えた高速・高精細な電子ビューファインダーが本格的な撮影スタイルを提供します。新機能「ライブコンポジット」を使えば、簡単に星空が撮影できます



「ライブコンポジット」機能で星空も簡単に撮影できます



高い描写性や高速AFなど、嬉しい機能が盛りだくさん

●オリンパスカスタマーサポートセンター
0120-084-215(携帯・PHSからは042-642-7499)
<http://olympus-imaging.jp/>

秋に撮影を楽しむとおきネタ

OLYMPUS OM-Dシリーズ、PENシリーズに搭載している「アートフィルター」を使うと紅葉も一味違う趣で撮影できます。

知っ得! 各社のお客様相談窓口

Canon キヤノン お客様相談センター
コンパクトデジカメ
☎050-555-90005
デジタル一眼・交換レンズ
☎050-555-90002

Nikon ニコン カスタマーサポートセンター
☎0570-02-8000

FUJIFILM フジフィルム FinePixサポートセンター
☎050-3786-1060

リコーイメージング お客様相談センター
☎0570-001313

OLYMPUS オリンパス カスタマーサポートセンター
☎0120-084215

RICOH リコー お客様相談センター
☎0120-000-475

SONY ソニー お客様ご相談センター
製品問合わせ
☎0120-000-488
使い方問合わせ
☎0120-333-020

Panasonic パナソニック LUMIX ご相談窓口
☎0120-878-638

キタムラグループ お客様まなんでも相談室
☎050-3116-8888

*受付日時はそれぞれ異なります。詳しくは各社ホームページをご覧ください。

どこにいるかがわかります

位置情報提供システム「ココセコム」

近年社会問題になっているのが、認知症高齢者の徘徊です。全国の警察がまとめた認知症による行方不明者は、昨年1年間で1万322人と発表されています。セコムが2001年からサービスを提供している「ココセコム」は、端末を持っている方の居場所がわかるので、認知症でお困りの方やそのご家族を見守ります。



ボタンひとつでかんたん操作
料金:月額500円
(税別)~

「ココセコム」で
家族の安全を
守りましょう



池田裕道さん



●セコム株式会社
新横浜支社
090-3623-9242
<http://www.855756.com/index.html>

シニアならではの視点と感性

第2回スロー写真大賞

1枚の写真と、それに添えられた140字以内のコメント。シニア世代ならではの視点・感性で捉えた一瞬の感動を、豊かな人生経験に裏打ちされた深い洞察力で表現してみてください。ご応募は、ウェブからでもプリント作品の郵送でも、どちらでもOK。いつまでも好奇心を失わないあなたの写真作品をお待ちしております。ふるってご応募ください!

応募締め切り:
2014年10月31日(金)



自慢の作品をご応募ください

●スロー写真大賞ホームページ
<http://www.slownet.ne.jp/sns/area/camera/reading/spca/201407111949-d0ac297.html>

秋に撮影を楽しむとおきネタ

旅しているときや日々の暮らしの中で、偶然見つけた景色や人とのふれあいなど様々な情景に出会い、心が和まることがあります。カメラを通して、あなたが出会った心に残る感動の一枚を、短い物語(140字以内のコメント)をつけて応募してください。

えがおがいっぱい

第43回 公益社団法人日本広告写真家協会 公募展(APAアワード2015) 作品募集

APAアワードは1961年から開催されている歴史ある写真の公募展です。実際の広告を募集する「広告作品部門」と写真家の新たな表現への挑戦を募集する「写真作品部門」の2部門。あなたのオリジナリティで人の心を動かすことに挑戦してみませんか? あなたの力作をお待ちしております!!

【公募受付期間】
広告作品部門: 9月1日(月)~9月25日(木)
写真作品部門: 9月1日(月)~10月6日(月)
【応募先】
公益社団法人日本広告写真家協会
【料金】
広告作品部門: 無料
写真作品部門: 一枚につき3,000円(税込)
学生 1,500円(税込)

●公益社団法人日本広告写真家協会
APAアワード2015
03-5449-0580
E-mail kouboten@apa-japan.com
<http://www.apa-japan.com/>

写真を楽しむ人の会員サービス

ファット.ext 会員募集

ひと月あたり約550円(税込)の、写真を楽しむ人のための会員サービスです。写真雑誌「PHAT PHOTO」年間定期購読の他、Webサイト上でコラムや動画なども公開。誌面と連動したポートレイト、風景旅写真、街中鉄道写真の撮り方などをわかりやすく解説します。期間:常時公開
URL: <http://phat-ext.com/>
料金:年会費6,500円/年(税込)

お得な情報を
配信します

●株式会社シー・エム・エス
「PHATPHOTO」編集部
03-5524-6991
<http://www.phatphoto.jp/>

藤田 歩さん

秋に撮影を楽しむとおきネタ

花を撮る機会が増える秋の季節。ありがち写真から脱却するためのポイント3つを動画でわかりやすくアドバイス。現在、「ありがち写真からの脱却!!」を「ファット.ext」で公開中です。
<http://phat-ext.com/e-learning/3217>

個展作品と写真集に 掲載する写真を募集

フレームマン、ギンザ、サロン スペシャルパッケージプラン & オリジナル NEW写真集 発表

写真展開催の記念に、写真集も作りませんか。プリントを用意するだけで、フレームマンが作品として展示し、写真展を開きます。ご好評の写真集の制作パッケージもご用意しました。

【写真展】
料金:ミニギャラリー 半切A-3 15時まで 30,000円(税込)
ギャラリーII 半切A-3 30時まで 150,000円(税込)
場所:中央区銀座5-1 銀座ファイブ2F
【写真集】
印刷と表紙デザインを選べます。詳しくはお問い合わせください。



あなたの作品を発表するチャンスです

●株式会社フレームマン 営業本部:奈須田一志
03-5638-2211(代)
<http://www.iframe.com.jp>

秋に撮影を楽しむとおきネタ

紅葉の写真額装して飾れば、自宅で紅葉狩りの気分を味わえますよ。

Facebookグループで見せる・出会える・学べる

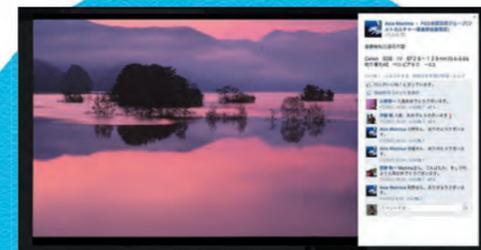
フォトカルチャー倶楽部(PCC)に入会すると「Facebook PCC全国交流グループ」に参加できます。会員の方がWeb上に集まり、写真を通してさまざまな交流をするグループです。さらには実際に顔を合わせて楽しんでいます。あなたもPCC会員になってFacebookグループの交流を楽しみませんか。

みんなで新しい写真体験を

日本全国に広がるPCCの輪



現在入会しているPCC会員の地域別割合。ご近所にPCC会員がいるかもしれません



Facebookグループには、何百人もの会員から毎日たくさんの写真が投稿されます。撮る人によって違う被写体の感じ方や、その土地の旬な情報が数多く見られます。写真を見ることは、自分が撮影するときの学びにもつながります。

見せる

出会える



例えば、遠く離れて滅多に会う機会がない人とも、Facebookならいつでも近況を交換できます。さらに、2014年6月には交流イベント「写交場」を開催。画面上の交流しかなかった人同士が、実際に顔を合わせました。



「PCC全国交流Facebookグループ 第1回グランプリ大会」グランプリ「おとぎの里」彦久保秀幸さん

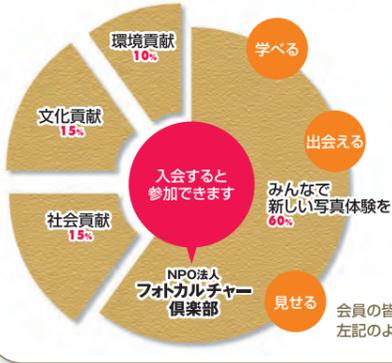
Facebookグループに投稿された写真は、「PCC☆Weeklyわくわく写真コンテスト」に自動エントリー。面倒な手続きはらず、気軽に簡単に参加できます。「写真は見てもらいたい、でもコンテストはまだ自信がない」、そんな方にオススメです。

学べる

フォトカルチャー倶楽部とは

フォトカルチャー倶楽部(PCC)では「みんなで新しい写真体験を！」をスローガンに掲げ、会員の皆さまのご支援で、さまざまな社会貢献・文化貢献・環境保護貢献をしています。情報誌や写真教室で学び、イベントで出会い、写真展や誌面上で見せることができます。

左のページのようにさまざまな特典も受けられます。プレミアム会員なら、撮影情報誌『フォトコンライフ』の年間購読がついて、とってもお得。皆さまのご入会をお待ちしております。



会員の皆さまからいただいた会費はPCCの活動を通して左記のような目的で大切に使われています

会員特典

PCC会員は年会費 1500円

特典 1

情報誌『フォトコンライフ四季』プレゼント
作品発表の場、交流の場、情報満載の「フォトコンライフ四季」を年4回ご自宅にお届けします



特典 2

プリント商品・フィルム商品の10%割引
PCC会員証のご提示でカメラのキタムラなど協力店でのプリント商品が店頭価格より10%割引になります



特典 3

賛助会員の特典利用
子ども写真館スタジオマリオのお写真代10%OFF
(他の割引との併用は不可)



スーパーホテルで
通常宿泊費が30%OFF
(月・金・日曜日限定・学生・60歳以上の方対象・一部対象外施設あり)
※ご利用されるホテルにご確認ください

ニッポンレンタカーで
レンタカー利用基本料が約5%OFF
(一部対象外クラス・対象外地域あり)

休暇村本館宿泊費・キャンプ場サイト利用料が10%OFF

ALSOK総合警備保障のホームセキュリティご契約時、5千円もしくは1万円キャッシュバック
※詳しくは利用方法はPCCホームページをご覧ください

プレミアム会員になると特典1~3に加えて特典4も!!

+2,500円で手に入って断然お得



見て学べるDVDつき



※入会時期により、お届けする号が変わります

PCCプレミアム会員は年会費 4000円

特典 4

撮影情報誌『フォトコンライフ』年間購読
双葉社刊 本体1340円+税の季刊誌を年間4冊ご自宅にお届けします



お申し込みは

カメラのキタムラ店頭で
*手数料不要

口座自動振替払いで
*必要書類をご請求ください
*手数料不要
*毎年の更新手続き不要

クレジットカード払いで
*ウエブでお手続きが可能です
または
*必要書類をご請求ください
*手数料不要

コンビニ振込で
*ウエブでお手続きが可能です
または
*必要書類をご請求ください

郵便局振込で
*必要書類をご請求ください



郵送でお届けする案内状に会員証がついています。はがしてお使いください

フォトカルチャー倶楽部へのご入会・お問い合わせ先

特定非営利活動法人
フォトカルチャー倶楽部 事務局

〒160-0004
東京都新宿区四谷4-28-20-205

☎03-3356-3552

受付時間 10:00~18:00(土日祝は除く)

http://npopcc.jp

blog http://blog.canpan.info/npopcc/

フォトカルチャー倶楽部 検索

EF ODYSSEY

Canon
make it possible with canon



EFレンズの創造と進化は続く。果てしなく。

ある者はいう「光を制するために」。またある者は言う「瞬をとらえるために」と。EOSの眼として、理想のレンズを求め、1987年に完全電子マウントシステムを採用して誕生したEFレンズ。それはEOSシステムに匹敵する純正レンズとして、すべてに最高を指し、すべてに最高を指した設計思想の結晶。全画面における高画質。全レンズ間で統一された色再現性。自然なボケ味。優れた操作性。小型・軽量化による機動性。静粛性。信頼性。レンズの革新に挑むキヤノンが創造し続ける高性能は、デジタル化、AFの高精度化、高画質化などカメラの進化とともに加速する表現追求の証だ。EOSシステムの撮影力は、EFレンズがあつてこそ完成する。EFレンズは世界初「累計生産本数1億本」を達成。写真を愛するあなたとともに、EFレンズの進化は続く。

EF LENS

* カメラ用交換レンズとして(キヤノン調べ、2014年4月22日現在)

70 million EOS
100 MILLION EF LENSES
おかげさまで1億本達成

EOSは累計生産台数7,000万台*1
EFレンズは累計生産本数1億本を達成*2

Home Page キヤノン EFレンズ ホームページ canon.jp/ef

キヤノンお客様相談センター
交換レンズ 050-555-90002
受付時間 平日 9:00~20:00 土・日・祝日 10:00~17:00
*1・*2は概算です。

* 海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は043-211-9556をご利用ください。* 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社



4/25 レインボータウンFMに出演
PCC松延(左端)が東京のFM放送に出演し、Facebookについて熱く語りました。売れ行き好調な自身の著書を手に満面の笑みです。中央はナイス社の大熊静香さん、右側は中野真理さん



5/15 PCC田沼顧問の写真展「むさしの日記」オープニングパーティ
左からPCC松尾、オリンパスイメージングの小川治男社長、田沼敦子さんとお姉さま。自社のギャラリーで開催された写真展に、小川社長も満足そうです



6/18 写真業界女子会
メーカーや団体の枠を超えて写真業界で活躍中の皆さまが集まりました。最前列左がPCC野田、手前中央が発起人の写真速報社の丸山信之編集長



6/23 Gサミット写真展
日比谷公園で開催されたGサミット2014写真展をご覧いただいた「やさしい王国 昭和村」の皆さま。毎年そろってお越しいただいています。中央がフォトコンテスト実行委員会の角田侃男さん、後方中央がPCC若林

笑顔に勝る化粧なし PCC多事多忙録



6/28 春日部高校
埼玉県立春日部高校生に写真の撮り方、カメラの使い方を講義するPCC野田。生徒の表情から真剣さが伝わってきます。もう恒例の講義となり、今回で第4回です



7/1 日野原重明先生と
聖路加国際病院名誉院長の日野原重明先生(右)とPCC松延。日野原先生は100歳を超えてFacebookを使いはじめ、わかりやすい本を手に入れて嬉しそうでした



7/18 海野和男先生写真展「小話日記」
海野先生には365日フォトコンテストの審査員としてお世話になっています。左からPCC高橋、海野先生、少し固い笑顔で「四季」デビューした新東通信の関谷侑未さん



8/1 写真展「四季の八幡宮」審査会
中央は芳賀日出男先生と芳賀日向先生、左から2番目にPCC高橋。神聖な八幡宮と凛としたてちの巫女さま。写真展は10月に開催されます

水谷先生が指導する直伝講座 第2弾 志賀高原の秋景色・瞬撮のコツ

移りゆく光や風を逃さず「瞬撮」。
スポーツ写真の大家が風景のダイナミックな撮り方を直接指導します

日程:2014年10月14日(火)~15日(水) ※現地集合・現地解散
講師:水谷章人
料金:29,000円(税込・1泊2食つき)
定員:20名(最少催行8名)
締切:2014年9月30日(火)

主催・宿泊:シャレー志賀
〒381-0401長野県下高井郡山ノ内町志賀高原一の瀬
TEL 0269-34-2235
URL <http://www.shigakogen.jp/chalet/>
後援:フォトカルチャー倶楽部



皆さんの作品をお待ちしています

PCC会員と皆さんでつくる「フォトライフ四季」、お気に入りの写真を応募してください。

応募方法

プリントの場合:写真サイズ:はがきサイズ、2Lサイズ
写真の裏に必要事項(※)を貼付、ご郵送ください。
データの場合:写真サイズ:2MB前後(350dpiで10cm×15cm程度)
メールのタイトルに「フォトライフ四季掲載希望」、本文に必要事項(※)を記入、送信してください。

※必要事項
①氏名(フリガナ)②〒住所③電話番号④希望のコーナー(表紙、P1、P6、P7、P22)⑤タイトル⑥撮影地⑦ひとことコメント(撮影の工夫やエピソードなど)

91号(12月発行)掲載分は、9月20日(土)まで(テーマ:冬)
92号(3月発行)掲載分は、12月20日(土)まで(テーマ:春)

送先

NPO法人 フォトカルチャー倶楽部
「フォトライフ四季掲載希望」係
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-20-205
☎03-3356-3552 Eメール satsuei@npopcc.jp
※掲載可否は紙面での発表となりますのでご了承ください。また、PCCブログに掲載させていただく場合があります。

【募集のおさらい】
表紙、P1、P6、P7 P1
丹地先生写真集プレゼント P2

【ここにも募集があります】
PLフィルタープレゼント P11
みどり東京フォトコンテスト P16
日本の祭りフォトコンテスト、「花」写真コンテスト P25
募集要項は各ページをご覧ください

日常写真 飯

暦はもう秋とは言え、まだ夏の気配をいたる所に感じます。皆さんは新しい「ひと夏の経験」をされましたか。写真はいっぱい残せましたか。

少し昔の夏の思い出を書かせてください。アメリカのとある小さな湖で、水上スキーをやらせてもらったことがあります。初体験でも立ち上がることができたのはいい思い出なのですが、それよりも誘ってくれたアメリカ人がスキー板なしの裸足で水上をすべる姿に驚いたものです。もちろん彼らの足はちょっと大きいのですが……。そんなことができるのかと唖然としました。Barefootといって、今は競技もあるようです。

水上スキーが世界で初めて行われたのは、1922年の夏。アメリカ、ミネソタ州のペビン湖で、松の木の板2枚をスキー代わりにしてモーターボートにひかれて滑ったというのが定説になっているそうです。実は私の初経験も、同じミネソタ州でした。きっと地元の人には、そんな血が流れているのです。

ついでにおすすめは、このミネソタ州を起点とするミシシッピ川の源流巡りです。源流といっても水が湧き出す場所ではなく、アイタスカという湖から川が流れ出る場所でした。浅瀬で5mぐらいの幅なので「ミシシッピ川を歩いて渡る唯一の場所」です。そこで足を入れた流れが、メキシコ湾まで3,779kmという気の遠くなる旅をすると思えば、ちょっとロマンに浸れます。

世界の秘境探検よりも少し身近な、でもちょっと毛色の違う体験のご紹介でした。 PCC事務局 若林

思い出の中で色は強くなる。
その鮮やかな記憶色を写したい。

写真家 H A B U



Photo : HABU

FUJIFILMの色 FUJIFILMの写真



この X-T1 で空を撮ると
フィルムで撮ったときと
同じイメージで
空の青が表現できるんですね。

フィルムでしか
表現できなかった鮮やかな青が、
見たままそのまま表現できます。

この色再現は、
さすがフィルムメーカーが作った
カメラだなんて気がしますね。

とにかく画質が凄いです。

写真家 HABU

Habu



X-T1

